新京日日新聞
夕刊　六月二十四日
發行所　新京日日新聞社　新京永樂町四ノ一
發行人　十河榮忠
編輯人　和波懿
印刷人　水越内之介

重慶に匕首

輝く皇軍の戰功
襄西作戰綜合戰果

大本營報道部長談

【東京發國通】大本營陸軍部では今次襄西作戰が宜昌占領によつて一段落を告げたので同作戰の經過並びに戰果について廿三日左の如く報道部長談を發表した

一、襄陽東方地區で二回に亘つて包圍殲滅戰を實施して約五十萬の敵を徹底的に打のめしたわが軍は息つく暇もなくまづ北方兵團は五月卅一日夜忽然襄陽下流から漢水を渡河し敵陣地を片ッ端から總なめにしつゝ南方宜昌に向け進撃した一方南方兵團は六月五日襄陽の南三百キロの舊口鎭、沙洋鎭附近から漢水を渡河し北方兵團と呼應して漢水西岸地區の敵約四十萬を挾撃包圍しながら遮二無二敵の戰略的據點宜昌に突入六月十一日完全にこれを占領したのである

一、次いでわが軍は十六日夜宜昌を撤退するかのやうに見せかけたところ敵はまんまとわが作戰にひつかゝつて再び後方より侵入し來たのでわが軍は直ちに反轉してこれを殲滅し同地は目下完全にわが軍の手で占領してゐるしかるに重慶は相變らずデマを飛ばして支那側は十七日宜昌を占領し日本軍を鏖殺しにしたなど放送してゐるのはいつもながら苦笑のほかはない

一、今次の襄西作戰の戰果を擧げれば敵の遺棄死體一萬八千、俘虜二千七百でこれに對しわが方の犠牲者は二百餘名であつた、わが犠牲一名に對し敵の損害約百名に値することになる、その他鹵獲品は莫大の數字を算し從來の戰鬪に比し豫想外の大なる戰果を收めたものといへよう

一、本作戰で北方兵團の如きは十日間に三百五十キロの山地を進撃し襄東作戰をも加へると四十二日間に千二百キロを突破したことゝなり、佛白國境からパリまで僅か二百キロにすぎないのに比べて支那の作戰が歐洲大戰より如何に大規模であるかがわかる、また本作戰の戰場は標高七百メートル前後の山地であり加ふるに百二十度の炎天下で行はれたのであつて歐洲大戰々場が地形道路並に氣溫等到底その比でないことを思へば皇軍將兵の勞苦が並大抵でないことが想像されよう

一、要するに襄西作戰は日本軍が初めて漢水を渡河進撃し巧妙な作戰によつてめまぐるしき機動作戰を行ひ、敵陣地を兩方面で突破して分進包圍の結果大なる戰果を擧げたものので敵が難攻不落と稱した重慶防衛の正面主陣地宜昌を占領して重慶に精神的物質的大打擊を與へたことに重大なる意義があるある

一、なほ襄東、襄西作戰の綜合戰果を示せば次の如くである
遺棄死體三八、〇〇〇、捕虜四、五〇〇、大砲機關銃五七〇、小銃一〇、二〇〇、各種彈藥一〇、二七三、〇〇〇、その他多數
右の如く從來の戰鬪に比し俘虜の數が大であることは注目に値する

香港の敵性威壓
斷乎援蔣根絶を期す

【廣東廿四日發國通】寶安深圳方面英支國境線附近に作戰中のわが軍は深圳附近に主力を集結して今後の行動を準備中であるがこの集結は香港方面よりの援蔣ルートを監視すると共に精神的にも各方面に對して無言の威壓を加へもつて香港の抗日敵性に對し猛省を促さんとするものである、從つて少くとも香港の抗日敵性が根本的に解消せざる限り軍は絶對に撤兵せずとの確乎たる決意を固めてゐる、また行動開始以來支那側に與へた損害に反しわが軍の損害は僅かに戰死傷各一名で百卅度を超えた炎熱下に將兵の士氣いよいよ軒昂なるものがある

英・對佛國交斷絶
ポ内閣を相手とせず

【ロンドン廿三日發國通至急報】英國政府は廿三日午前十時十五分を以て對佛國交斷絶を發表、同時に英政府はボルドーのフランス内閣を獨立政府として承認するを得ず、新たに組織された國民委員會をフランス政府として承認する旨をも併せて發表した

【ボルドー廿三日發國通至急報】フランス政府は廿三日午後「獨佛休戰協定調印後英政府より國交斷絶の通知を受けた」旨發表した

獨佛休戰協定骨子

【ロンドン廿三日發國通】フランス政府は廿二日遂に對獨休戰協定に調印したが英國官邊の言明するところによれば獨佛休戰協定は全文廿四箇條より成りその中最も重要な條項は左の通りである

一、フランス全陸軍の武裝解除ならびに召集解除
一、フランス全艦隊の武裝解除および獨伊側への引渡し
一、フランスの全西部海岸線およびジュネーヴ、リオン、ツールを結ぶ以北の佛領の獨軍による軍事占領
一、殘餘の佛領は大體伊軍の軍事占領の下に置く

重慶機關引揚
援蔣停止に大衝撃

【香港廿四日發國通】日佛交渉の結果佛國が佛印經由の對重慶軍需品輸送を停止したことは重慶側を極度に狼狽せしめてゐるが同時に佛國租借地、廣州灣にある支那側各機關にも一大衝撃を與へ同地の重慶側各政權機關および銀行は急遽同地より引揚げを準備中であるといはれる

皇軍、英兵と對峙
深圳河を挾んで一觸即發

【深圳廿三日發國通】廿二日皇軍の深圳占據により英支國境々界線である深圳河を挾んで再び皇軍と英領守備兵とは廣九鐵路橋上に相對峙するに至つた、同鐵橋は深圳市街より南へ一キロの地點にあり皇軍は深圳占領と同時に同鐵橋間近に第一線部隊を配置、國境線上にユニオンジャックを飜へした英領守備の印度兵立哨との間隔は僅に百メートル、彼我極めて緊張裡に警戒してゐる、皇軍守備線から英領を望むと多數支那人の避難民を收容したバラック建の家屋から夕餉の煙が立上り避難民達の話し聲がはつきりと聞えてくる

新政黨結成に
近衛公乘出す
樞密院議長を辭任

【東京發國通】擧國一致新黨の中心に推されてゐる樞密院議長近衛文麿公はかねて國内體制刷新に關する公の意圖するところを積極的に具現すべく政界、財界、學界その他各方面の情勢を極めて愼重な態度をもつて打診しつつあつたが、その機運も漸く釀成されるに至つたので現在の地位にあつては政治的活動に支障あるためこの際斷乎たる決意の下に樞密院議長の要職を退き、新黨結成に乘り出す決意を固め、廿四日朝堀江樞府書記官長を荻窪の私邸に招致し辭表を米内首相に傳達せしめこれが執奏方を依賴した【寫眞は近衛公】

議長後任に
原副議長昇任

【東京發國通】政府は近衛公の辭任に伴ふ樞府議長後任に現樞密院副議長原嘉道氏を昇任せしめることゝなり米内首相は廿四日午前十時四十分宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられこの旨を内奏、親任式は廿四日午後擧行されることゝなつた【寫眞は原嘉道氏】

赤色邊區の
敵匪潰滅追る
晉南作戰猛進擊

【太原廿四日發國通】灼熱の通枝山岳を踏み越え黃河河岸に向け怒濤の進擊を續けるわが精鋭の前に北部晉西三萬の敵匪の運命はいまや全く風前の灯となり赤魔が企圖する赤色邊區の迎繫ばこゝに脆くも潰え去らんとするに至つた、各部隊の進擊狀況左の如し

一、林、村田兩部隊は岸嵒嵐西北方地區の優勢なる敵匪を蹂躪殲滅、なほも前面敵匪を覆滅しつゝ猛進擊を續け廿二日には早くも黃河東岸の要衝保德南方に肉薄した

二、大村部隊は廿二日興縣南方十六キロの炕輝溝地區の敗敵に徹底的掃蕩を加へたのち同地西北地區にあつた三百五十八旅、七百十四團を猛擊これを北方に潰亂せしめ更に白文鎭西側地區の敵匪を擊攘同日夕刻窰頭村に進出した、なほ南部部隊は廿一日晝方山北方十六キロ正溝附近峻岳内にある三百五十八旅の一部を擊滅し廿二日朝塞上村を經て窰頭村に進入した

三、南方より窰頭村に突入した清水部隊は方山附近を掃蕩したのち廿二日同地西方十四キロの苗家庄附近に於て優勢な敵匪を覆滅し更に北方に向け猛進を續けてゐる

四、佐々木部隊は三溝鎭北方地區の敵を擊碎し廿二日朝一擧に臨縣に突入した

五、照井部隊は臨縣西方十六キロの前曹底附近より北上し廿二日夕刻臨縣西方地區に進出した

破竹の猛進擊

【深圳にて廿三日發國通】英支國境に沿つて一擧に深圳を陷れたわが精鋭諸部隊の勞苦は洵に言語に絶するものがあつた、即ち昨年十二月撤兵以來六ケ月、敵は軍靡明の眞意を解せず執拗なる蠢動を續け深圳より寶安へ通ずる自動車路は文字通り寸斷され各所に水田の水を流してクリークをつくり小癪にも水を利してわが進擊を阻まんとした、加ふるに廿二日は朝來豪雨の惡天候で深圳への道路は到るところ氾濫しこの道ならぬ急流を衝いて快足を誇るわが長野以下各精鋭の壯烈な强行軍に敵は狼狽逃げる途もなく皇軍精鋭破竹の進擊の前には道路破壞の戰法も無爲に終つた

第三戰區の
蠢動敵を潰滅

【南京廿三日發國通】わが宜昌作戰牽制のため第三戰區の敵顧祝同子飼ひの第四十師以下第六十三師、江南挺進隊の各一部を含む混成部隊は六月上旬から各所に蠢動を開始したのでわが伊藤、鈴田、野田等の突擊部隊は南京東南方金壇、溧水の兩方面から泥濘を衝いて神速に出擊、廿三日未明敵主力約四千を竹簀橋附近に捕捉猛攻してその九百五十を刺殺潰亂せしめた
右激戰においてわが方も山川正太郎大尉（滋賀縣）神谷四郎中尉（靜岡縣）以下戰死十一、戰傷六十一を出した

佛伊休戰交渉開始

【ローマ廿三日發國通】佛伊休戰交渉は廿三日午後四時（滿洲時間同日午後十一時）よりローマ郊外某所に於て開始された

休戰協定に決意
＝英政府對獨戰完遂聲明＝

【ロンドン廿三日發國通】獨佛休戰協定成立によつて英國は益す戰爭完遂の決意を固めつつあるが、英國政府は二十三日午後ステートメントをもつて
英國政府は佛領各植民地において今後ともフランス將兵をして對獨伊抗戰繼續を可能ならしめんがためこれに必要な財政上の措置に關し各般の準備を進めてゐる
旨發表した

獨、佛軍港占領

【ベルリン廿三日發國通】總統大本營發表＝大西洋岸に沿つて南下中のわが裝甲部隊は廿三日遂にボルドー北方百六十キロのラ・ロシエル近郊に達し、また他の一部隊はロアール河口の佛軍港サン・ナーゼルを占領した

埃及内閣辭職

【カイロ廿三日發國通】アリマヘル氏を首班とするエヂプト内閣は總辭職を決意去る廿一日國王ハルク一世に辭表を提出したが、ハルク一世は廿三日右辭表を受理した旨發表した、後繼内閣の首班に如何なる人物が起用されるかは不明であるが、對伊宣戰問題をめぐつて英國、エヂプト兩國關係が微妙化してゐる折柄エヂプト内閣今回の更迭は頗る重視される

興亞の重き先驅
人間戰車　五

新京滿鐵醫院　醫學博士　山岸良治

性病に無關心
指導層にも責任
（下）

指導者階級には若い人もありませうが大抵四十以上の年輩者である、さういふ人の若い時代は割合に性病に對し無關心であつたやうに思ふ、例へばペスト、チフス、赤痢の如き急性傳染病の流行に對しては恐慌を來たし騷ぎ出す官廳でも性病には割合冷淡だ、まだ考へ方が足りないのではないか、よい指導者があまりに少な過ぎるのではないかと思ふ

これは僕自身の考へてゐることであるが、對策といふか、先づ精神教育を施して惡い所に行つて遊ぶと言ふ方面に青少年達の考へを向けないやうにする、だが年頃ともなれば性に對して相當な興味を持つて來ることは必然である

そして指導的地位にある人達が青少年の精神教育を軍隊式に嚴格にやることも一つの方法であるかも知れないが、一方慰安の施設にも惠まれてゐない不合理な生活にある青年の氣持も汲んでやつて生活に何かうるほひを持たせるやう指導なり施設がほしい

性病の如何に怖ろしく悲慘なものであるか、そして國家に如何なる影響があるかといふことを、これを教へることは相當な效果を上げることが出來る、然し根本は豫防法にまで到達しなければならない、適當な機會に適當な方法で教へなければいけない、さうしたことを一つの會社なり或は官廳でやることも一方法ではあるが、出來得るならば國家的に官民が一體となつて一つの組織をもつことがよいと思ふ

例へば日本に於ける「性病豫防協會」が機會ある毎に性病の害を一般大衆に呼びかけ普及徹底につとめてゐるが如くこの協會は創設以來十數年の歳月を經てゐますが可なりの成績を擧げて來てゐる、ことに滿洲事變、支那事變を契機として當事者の考へ方も一歩進んで相當積極的に效果的に活動されるやうになつた、滿洲にもさうした組織をもつてやらねばいけないと思ふ、また法文にならない性病豫防法を制定して特殊婦人の性病豫防及び撲滅の徹底を期し餘力があつたなら一般大衆の性病相談性病治療に迄乘り出してもらひたい

斯の如く官民一致し大衆に向つて性病の恐怖すべき理由或は子孫にまた國家興隆に對する影響、近來はとくに人的資源の不足が叫ばれてゐる際である、これにどういふ影響を及ぼすかを知らせて性病撲滅に働きかける一つの活動を興して貰ひたい、その方法は幾等でも考へれば出來る、當局の人が考へれば名案が澤山浮ぶと思ふ、勿論これには民間の醫者も參畫する、醫者のみならず各方面の權威者有力者を加へねばならない

官吏制度の改正案
正式に決定

【東京發國通】政府は廿一日の定例閣議において官吏制度改正に關する左の勅令案を附議正式決定、近く樞密院の諮詢奏請の手續きをとることとなつた

一、奏任文官任用令中改正に關する件
一、待遇職員より奏任文官に特別任用せられる場合の官等に關する件
一、外交官、領事館員、書記生任用令中改正の件
なほこの改正案によれば從來判任官の昇進は事務官をもつて限度とされてゐたが奏任文官任用令の改正により無資格者も銓衡により書記官へ登用し得るの途を拓き總務部長、警察部長等を經て知事へも昇進し得ることゝなつた

訪伊使節團
伯林着

【ベルリン廿三日發國通】佐藤大使以下訪伊使節團一行十名は廿三日正午ローマよりベルリンに到着した、佐藤大使は約十日間滯獨、ヒトラー總統を始め各方面要人と會見し戰線の視察にも赴く豫定

桑折武官歸任

國境方面視察中であつた駐滿海軍武官府桑折英三郎少將は二十三日午後九時三十分の列車で歸任した、なほ大連へ出張中であつた村井輔佐官は二十三日午後八時二十分歸任

◇交通部人事科長　市川交通部人事科長は曩の異動により間島省開拓廳長に榮轉し交通部人事科長は空席となつてゐたが國務院では廿四日交通部參事官（薦任二等）藤井佳吉氏を人事科長に任命發令した　藤井佳吉氏就任

◇風早鑛山司長東上　經濟部鑛山司長風早氏は本年度產業開發計畫を日本側と打合せ旁々闇資金調達方につき目下滯日中の青木金融司長と協力折衝のため二十五日の日滿連絡船で東上する

人事往來

着京
▲森信三郎氏（會社員）二十四日來京ヤマトホテル
▲土肥民生部次長　同國都ホテル
▲鎌田清二氏（官吏）同國際ホテル
▲渡部幸三郎氏（同）同
▲齋藤左武郎氏（會社員）同
▲田中力太氏（平安材木商）同
▲岩木精一氏（官吏）櫻ホテル本館
▲友松金三郎氏（金融業）同
▲中村安宏氏（牡丹江木材）同三國ホテル
▲清海武夫氏（小市炭礦取締）同
▲森上克氏（奉天請負業）同
▲宇津宮武三郎氏（東京丸美屋）同
▲鈴井正基氏（森永練乳會社取締）同滿蒙ホテル

出發
▲寺井清氏　神戸へ
▲山中實四郎氏　名古屋へ
▲竹口菊次郎氏　牡丹江へ
▲田中清藏氏　同
▲吉田伊藏氏　雄基へ

その日く

◇昨日の友は今日は敵、英國の功利主義は愈よ徹底して居る
◇それとも對岸敵性化に怯えての、些か戸惑つた處置でもあらうか
◇兩國一體化をさきには提案、今度は國交斷絶、その差は餘りに大きい
◇日本では不介入方針再檢討の際、じつとしてゐても影響が及ぶのだから
◇もとよりあくまで自主的堂々と世界に布く政策であらねばならぬ

米 通帳制・市公署の説
町會査定量は何時でも賣らう

米の通帳制度に關してはその實施が最初の事でその配給日時に關して或はその配〃量について色々と疑義が持ち上つて混亂の實情にあるが、市公署當局ではこれが統一を圖るため大體町會査定量の全部をいつでも小賣商を通じて配給させるやう配慮する模様である、この際市民はこの通帳制度を單なる米の問題としてのみ考へず國家總動員態勢の一つとして善處されるやう要望されてゐる

轉業騷ぎも落つく
飲食店米の配給問題

先きに市公署が料理店、カフエー、おでん屋等食事を本業としない飲食店に對して米の配給停止を通達したことから氣分で行く飲み屋であり又簡易食堂でもある八十餘軒のおでん屋業者は國策とは云へ我等の死活問題だとして全業者太子堂に會合、米獲得のためとあらば看板の塗り替へも辭せずとまで氣勢を擧げ、代表者が市公署商工科に配給停止は苛酷に過ぎはしないか何んとか便法を講じて貰ひたいとの陳情を行つた

同科ではその苦衷を察して米配給のストップ除外例として業態調査の上配給することを約し早速科員をして首警經濟保安股員立合の下におでん屋、喫茶店の戸別訪問調査を行つてゐたがこの程一段落した

すなはちおでん屋に於ては一ヶ月の米消費量（營業用）三斗以上の店には原則として配給し其他は配給停止を適用することとして調査を行つたもので、營業用米がなくても立ち行く店二十五軒を除く約六十軒には前査定よりも二、三割方の減量で配給することゝなつた

喫茶と食事の店の調査には喫茶一方で立ち行くものは配給ストップ、食堂兼業の店は無駄のない査定で幾分の減量配給となつたが、兎に角米獲得に成功した各業者は趣旨を理解して市當局の處置に滿足してをり一般市民もこれで飲んだ後の腹ごしらへに何等心配はなくなつたわけなほ料理店カフエーは指令通り配給停止となつてゐる

撒水車無い構へ
"軒先の街路に水を撒かう" 市民に求む衛生節約

炎暑の國都に一石二鳥策……炎熱の急變から水銀柱の昇騰いよ〳〵甚だしく連日の暑さに街道の反射熱もまた殺人性を帶びつゝあるとき、乾燥しきつた眞晝衛生夫が水をまかずに街路清掃に當るので空氣は汚染し市民をして撒水車の登場を望む聲が漲つてゐるが、ガソリンの消費規制につて市民の要望をどうすることも出來ず

首警衛生科では市公署、協和會とこれが對策につき種々協議の結果、水不足の折柄ではあるが市民が自發的に撒水して涼しい國都にしようといふガソリンの節約と衛生の一石二鳥を狙つた妙案を樹て「軒先の街路に水をまきませう」と呼びかけることとなつた、但し滿人方面では汚水を街路に捨てるといふ惡習があるのでこれと混同せぬやうはつきりした區別をつけ逆效果を警戒してゐる、右につき首警衛生科では語る

各自の軒先に水をまくことは衛生上極めて良策で特に衛生思想にかけてゐる滿系にとつて最も適質的な普及方法と思ひます現在國都における水量にやゝ不足の感もあるがガソリンの統制によつて撒水車の運搬も困難になつてゐるときこの新運動には進んで參加していたゞきたいものだ、但し滿人方面にある汚水を街路に捨てる習慣は嚴重に取締ることといたしたい

爽快！若人大空に舞ふ
あすから一週間グライダー練習

滿洲空務協會では滿系青少年層に對し大空への關心を昂め航空思想の普及を圖らうと首都協和會青年訓練所生に對しあす二十五日から三十日まで六日間に亙り鐵道北飛行場に於てグライダーの練習を實施することになつた

練習生は同訓練所生五十九名指導は（本田竹内兩航空技士が擔當し器林機關技士材はプライマリー三機を充て構造機能並に取扱ひ等の學科を修得せしめた後地上滑走及び高度一米以内の跳躍にまで導く豫定である、蓋し滿系青少年に對する組織的な滑空訓練は全滿に於て今回はじめて試みるものでその成果は期せされてゐる

滿鐵少年社員
巴林で夏季講習
キャンプ訓練催す

次代滿鐵を背負つて起つ滿鐵少年社員の薫育については全滿各箇所とも最も意を用ひてゐるがこの少年社員の指導者を養成するため七月二日から十日まで各箇所代表五名づつを集め興安嶺巴林に於て夏季講演並に體育指導講習會を開くことになつた

一方新京では中堅社員三十名を募り七月二十三日から二十七日まで五日間札蘭屯に於て第一回中堅青年社員キャンプ訓練を催し佐藤贍齋氏を聘して日本精神の講義も開く豫定である指導者訓練の講師は左の如くである

△我國大陸政策の使命と滿鐵の立場（安藤利夫）△日本精神と滿鐵精神（古村繁義）△滿鐵の使命と青少年社員の覺悟（平島敏夫）△日本民族の發展と青少年の重要性（牛田敏治）△歐洲各國の青少年運動概要（古田誠一郎）△體育指導（秋田顯治）△音樂指導（川崎什）キャンプ實際指導（古田誠一郎）

佐藤博士の講演

佐藤ライトの發明者として且又熱烈なる信仰の人として夙に令名ある佐藤化學研究所所長佐藤定吉氏は今般昭和製鋼所の招聘に應じ來滿したが當地には來る廿五日あじあにて着京、約一週間滯在の豫定である

因に同博士の來京を機に當地新京基督教青年會主催にて廿五日午後七時半より大興ビル講堂に於て同博士を圍み「科學と宗教」問題を中心とする座談會同廿六日午後七時半より協和會首都本部主催にて「時局下に於ける科學と宗教」と題し講演會を開催する外各處に於て講演乃至座談會を開く筈

御入京の日を御待ち申上ぐ
遠藤柳作氏 謹話

【東京發國通】滿洲國皇帝陛下は一路平安御召艦日向で御進航あらせられる時、第一次御訪日の際扈從の大任を果した當時の總務廳長遠藤柳作氏は二日後に迫る東京驛頭奉迎の感慨も一入深くお待ち申上げてゐるが、氏を豐島區池袋三丁目の自邸に訪へば威儀を正して

今回の御船旅も御平安に亘らせられ何よりと存じてをります、この後も波路お靜かに御航海あらんことを祈念して止みません

と述べ、扈從當時を追憶し乍ら左の如く陛下の御高德を謹話した

私は第一回御訪日の御光榮ある扈從の一人として日本を訪問致しました、御航海中陛下の御立派な態度は申上げるも畏れ多いことながら數々の感激の思ひ出の中今も忘れることの出來ないのは艦上に迎へた四月三日神武天皇祭のお儀式であります御召艦比叡はその朝全艦乘員が上甲板で遙拜式を擧げましたが、陛下にも同時刻に扈從員を從へさせられて展望臺に御起ちになり遙か東方を御遙拜になつたことであります外國の元首が日本の祭日儀式を共に遊ばされたと言ふことは紀元以來のことで私達の感激は言葉の外で御座いました、又陛下には御情け深く特に水兵の生活に御心をかけさせられ「艦中兵食を攝る」旨仰出でがありましたので全艦員恐懼して兵食を差上げましたが、神武天皇祭の儀式御參列と言ひ兵食のことゝ申し有難く今思ふだに涙が出てまゐります、今度の御訪日は日本紀元二千六百年の式年御表慶のためと拜しますが陛下におかせられては再度の御訪日はさぞかしお樂しみのことゝ拜察申し上げ御機嫌御麗はしく御入京遊ばされる日をお待ち申し上げてをる次第であります

阮大使の令息 奉迎文を放送

【東京發國通】滿洲國皇帝陛下をお迎へ申上げる歡び特に深いものに東京市麻布南山小學校がある、麻布櫻田町の駐日滿洲國大使館に程近いこの小學校には阮大使の令息令孃六人が現在在學、その他大使館職員の子供達が多數學んでゐて日滿兩國小國民の和やかな親善風景を日頃より描いてゐるが、皇帝陛下卅日滿洲國大使館に成らせられるに當り同校四年生以上千二百名の兒童が整列して奉迎申上げることになつてゐる

尚二十八日夜には六年生鈴木長光君（一三）小倉美々子さん（一三）阮大使令息阮守綱君（一三）がマイクを通じ皇帝陛下奉迎作文を朗讀、また六年男女兒童十六名も奉迎歌を電波に乘せて滿洲に送ることになり昨日今日は奉迎歌の練習に一所懸命である、阮守綱君は僕は滿語で朗讀するのですが滿洲建國以來日本を兄滿洲を弟としてお互ひに援けあつて共に東洋平和のため一生懸命盡してゐます、紀元二千六百年の佳き年にわが皇帝陛下をお迎へ奉るのは本當にうれしいことです、と實にテキパキとした日本語で語りまた小倉美々子さんは滿洲國皇帝陛下をお迎へする喜びで胸が一杯です奉迎作文をラヂオで放送することになりましたが私達のお喜び申上げる氣持ちが滿洲の皆樣に聞いて戴けると思ふと大變うれしいです

【寫眞向つて左は阮大使の令息へと上は學校で練習】

蕎麥 一石二鳥
市中の空地に增植
勤勞收入 敬農愛耕運動

既報、全市の空地を動員し各分會員の勤務奉仕によつて蕎麥を增殖しようといふ協和會首都本部提唱の敬農愛耕運動は愈よ來る七月一日から實施することゝなり、二十四日午前十時から本部會議室に滿系側各分會幹部を招集これが打合會を開催した續いて二十五日午前十時より日系側と打合會を開催するが

今回の運動は單に分會員の勞働奉仕に止めるだけでなく蕎麥の收穫は糧穀會社が買上げ收入は分會が收得する所謂勤勞と收入の一石二鳥をねらつたものである

物價高にこの喘ぎ
嘆く昆明の住民
歸杭した藥局主人の話

【杭州發國通】わが空爆に怯える雲南省昆明に約四ヶ月滯在、同地方の狀況を具さに視て來た杭州市內其藥局の主人陳某がこのほど上海經由歸杭した、彼は本年一月藥草買付のため杭州を出發、上海、香港、海防を經て昆明に入つたもので同人の談によれば最近の昆明の狀況は大體つぎの如くである

昆明における昨今の物價高は全く物凄く米一石事變前五六元であつたものが今では百二十元前後に達し足袋一足（下等品）三元、タオル一本二元八角、革靴一足下等品で九十元といふ物價高に住民の苦痛は言語に絕し大多數は米など手に入らず草根木皮に近い雜食で漸く露命をつないでゐる、昆明は瘴氣が強く住民は午前十時（滿洲時間）頃起き午前二時頃に寢に就く、阿片吸飮者の多いのは昔からであるが目下の重慶は阿片稅が稅收の重要種目となつてゐるので阿片吸飮を獎勵、吸飮者はますます增加、住民の八割は女子供でも吸飮してゐる

阿片は十匁廿五元見當である、一般の反戰氣分は強く下層階級を相手に公開される村芝居の如きは殆ど反戰的なもので非常に歡迎されてをり、當局の彈壓も如何ともし難い模樣である山岳地帶を利用した防空壕もあるがこれに這入るには一人卅元の金が要る、市街は殆ど石疊であるため爆擊の效果は却つて增大しその復興もまた困難と云ふ始末である、蔣介石の呼號する奧地建設は餓死狀態に彷徨してゐる難民を驅り集めて行はれてゐるにすぎず、昆明の復興振りとして目立つのはわづかに政府關係の廳舍等が散見されるのみで宣傳とは遙かに相違してゐる

現在昆明在住民の八割は各地からの避難民で歸鄉熱に驅立てられてゐるが、爆擊の後の復舊等に強要されるため絕對に歸されない、また歸るにしてもその日の食物にさへ困窮してゐるため旅費の算段も出來ない有樣だ、とに角あの地獄の中から拔け出てこの平和な杭州に落着いてみると全く夢のやうです、そして蔣介石の焦土抗戰の犧牲となり塗炭の苦しみに喘ぐ彼等のことを思ふと可哀相です、彼等もそれを十二分に自覺して平和にあこがれてゐるのだがどうにもならないのです

都市對抗陸上 新京豫選

第三回全滿都市對抗陸上新京豫選並に第十一回滿洲繼走大會新京豫選會は廿三日午後一時から南嶺競技場に於て擧行されたが、參加者多數にたつし好記錄を期待されたけれど各選手の調子惡く一般的に低調であつた成績左の通り

△百米1大澤（民生部）一一秒四2岩田（建築局）一一秒七3副島（中銀）△四百米1弘（中銀）五三秒九2劉（大光）五六秒四3陳（中銀）△千五百米1金山（體聯）四分二八秒三2崔（一高）四分三九秒〇3伊東（滿炭）△五千米1金山（體聯）一七分四六秒三2下平（師訓）一八分一六秒〇3石渡（滿拓）△百十米高障碍1山下（民生部）一六秒九2橋都（中銀）二〇秒〇△走高跳1植木（日滿商）一米六五2藤田（日滿商）一米六五3伊藤（工大）一米六〇3山口（工大教）△走幅跳1大澤（民生部）六米四八2藤沼（日滿商）六米三〇3山下（民生部）

△砲丸投1伊（新中）一〇米二四2小林（工大）九米五五3張（新中）△圓盤投1大石（滿業）三〇米二九2伊（新中）三〇米〇七3大澤（民生部）△槍投1河村（市公署）四四米七六2牧之瀨（滿炭）四三米七〇3岩崎（醫大）

京商、京中勝つ
全滿中等武道

紀元二千六百年慶祝滿洲帝國武道會主催、在滿教務部後援の全滿中等學校武道大會は廿三日午前九時より柔道は奉天一中講堂に於て劍道は南滿中學講堂に於て夫々擧行された、各選手の意氣軒昂熱戰を展開の後劍道は新京商業（甲組）新京中學（乙組）柔道は奉天一中（甲組）新京商業（乙組）が夫々優勝した

梅津大使歸任

皇帝陛下御見送りのため大連滯在中の梅津全權大使は廿四日午前八時新京着列車で歸任した

荒川から千葉に 新工業地帶造成

【東京發國通】東京橫濱を結ぶ京濱運河の開サクと臨海工業地帶埋立工事は着々進捗し既にその一部には工場街が出現躍進日本の姿を誇つてゐるが、今度は江戶川を荒川放水路から千葉縣蓁老川（千葉市東方）に至る沿岸約千四百萬坪を埋立て臨海工業地帶を造成することになり廿二日の內務省土木會議港灣部會で右計畫が決定された

あす（廿五日）

▼首都青訓生グライダー練習 於寬城子飛行場午前九時
▼敬農愛耕運動（日系）於中央本部第一會議室午前十時
▼社會教育研究會 於道德總會午後二時
▼青年自興運動會第六回懇談會 於國防會館午後二時
▼滿泰洋行會議 於國防會館午前十時
▼滿洲化學工業會議 於中銀クラブ午後二時
▼協和會弘報科會議 於中銀クラブ午後四時

今晩の放送

▲七・三〇（東京）國民歌謠「滿洲國皇帝陛下奉迎國民歌」他、松田トシ▲七・四〇（新京）講演「滿洲に住む悅び」岡田猛馬▲八・〇〇（東京）講談「菅谷半之丞」一龍齋貞山▲八・三〇（東京）連續ラヂオ小說「曖流」（一）夏川靜江▲九・一五（東京）歌謠漫談「新版桃太郎」ミルクブラザース

工學博士佐藤定吉先生を圍む
「科學と宗教」に關する座談會
―來聽歡迎―
日時 六月廿五日（火）午後七時半
場所 大興ビル四階講堂
主催 新京基督教青年會

夕刊娯樂

コント　新式イロハ

「あのアよ、アは何なのよ？」

此處はおでん屋「辨慶」の店先きである。客數人とおでん屋娘とが愉快げに語り合つてゐる。

中々の難問らしい。と思つたら何と、これがイロハ歌留多の文句を想ひ出し捻り出してゐるのだ。

「淺き夢見しぢや無えと」
「相見ての後の心か…」

人間年頃になると幼年時代の無邪氣さはフッ飛んじまふらしい。やつと一人が
「頭隱して尻隱さずさ」
と答へ
「アンタアタマがイイワネエ」
とほめられた。
「ぢやイは何だい？」
「エ、と、石川や濱の眞砂は…選ぶナ」
「色こそ見えねデモナイナア…」
「ヘン、犬も歩けばと來らあ」
「鰹節に當るか」
「そんなのあるかい」
ビールも廻つて賑やかな事だ。
「一つ新作で行かうや、時代相を織り込んでな」
「宜しい、アは何だ」
「アレヨアレヨと騰る物價つてのはどうだ」
「チト無趣味だな」
「おい、イロハのイから行けよ」
「イはだね、イギリスの沒落」
「ロは何だ」
「論語よみの論語知らずはどうだ」
「良さそうだな」
「ハは何にしよう」
「話以上の住宅難」
「成程なあ」
「ニは？」
「人間、認識不足多し」
「ちと理窟ぽいぞ」
「逃げ行く先はアフリカ、カナダ……それとも重慶、昆明」

其うちにビールも廻つて「オイ、イロハニの次は何だ？」なんてひどいのも出て來ました。どうも小學生のお子さん方にはあんまり見せられん圖です。
「ホだよ、ホだよ、惚れたのホだよ…」
まだ鬼の首でも取つたやうに大音聲をあげてゐる子もゐるんですから。…いやそもそも一家が「辨慶」でした。勸進帳もどきの大音聲も無理ぢやないや。（相澄間川）

興行インフレ潰え去るか？
この不況にどうやら長期型

興行インフレは何時まで續く？これに醉ひながらも內地大都市の興行者は何時潰え去るかも知れぬこのインフレ景氣に、極度の警戒をして來たのであるが、そこへ突如昨今の不況が襲ひかかつたのである、事實、六月に入つてからの興行界は映畫と云はず、演劇と云はず、又演藝と云はず、二、三の例外的ヒットを除いては一體に極めて低調であるそこで興行界ではそれインフレ景氣が潰え去るのだ、と云ふので、憂色極めて濃厚であるが、果して昨今の不成績は、その一般が觀測するが如く"長期型"のもので、ここで興行インフレは終止符を打たれることになるか？又はこれは單に季節的の一時現象であるか？これは興行界でも最重大問題として檢討してゐるが、その原因として社會の各方面から觀客に加へられる觀覽制限の強化されたこと及び中小商工業者の景氣の餘りよくないことなどが主なものとされてゐるがとに角內地興行界は現在を基準として漸次下降を辿るものと見られ、本年四月以前に見たやうな沸騰的好況はまづ期待されまい

滿映の國境接壤地帶巡映

滿映開發部の國境接壤地帶映畫工作は、過般來現地の調査と諸種の準備を進めてゐたが此程成案を得たので愈よ來る七月十五日から興安北省班は海拉爾、間島、牡丹江省班は琿春、東安省は東安を基地として活動を開始することゝなつた、右三班の巡映日程は次の通りである

一、興安北省班＝七月十五日より三十日まで（滿洲里、札賚諾爾、[illegible]、海拉爾、三河、吉拉林、牙克石）

二、間島、牡丹江省班＝七月十五日より八月十一日まで（琿春、九沙坪、黑項子、雷綫村、南泰盃、五家子、哈達門、馬適達、鎮安嶺、五道溝、十門子、東興鎮、東寧、老黑山、石門子、北河沿、大肚川、皇寧鎮、綏陽、綏芬河）

三、東安省班＝七月十五日より八月三日まで（平陽鎮、半截河、當壁鎮、白泡子、揚木崗、忠誠村、恭和村、和氣村、虎頭、迎化村、穆和）

滿映ニュース第八十六報

一、宗教に生きる、蒙古人の盛儀（博王旗、西梅口）
一、週間時事　競馬競ふ治安部大臣賞レース（新京）學童、幼兒の健康を選ぶ（新京）デモ（イタリー）
一、素描滿洲第廿六輯　古都呼蘭

▽▽愛染河內山△△　新興映畫、お馴染み河內山宗俊の松平侯相手の大芝居を描いた大案物、羅門光三郎、南條新太郎、國友和歌子共演、押本七之輔が監督してゐる　銀座キネマ廿七日封切

雜音

新京キネマ豐樂劇場の「歴史」第一部の封切アトラクションに田村邦男とフオア・シスターの出演があるが、入りは初日から兩館とも餘り香しいものではなく、內地のやうな鹽梅だ▼金曜日初日、土曜日にかけて兩館とも揚りは千圓臺を多くは出てゐない樣子、日曜日はそれでも豐劇がやゝ好調を見せたが充分とは言へずこのところ豐劇の掛け持ちは黑星つゞきである▼帝キネ長春座も振はない成績、帝キネの不振は「海軍爆擊隊」に、スターヴアリユウがない事と、今一つは日本映畫のこの種航空物が、在來殆どチヤチなものばかりであつて、全然信用がおけないといつたところにも原因してゐると思はれる、ここでは實物を見た人の宣傳に輻るより以外、多くは望めない譯で心外なことではあらう長春座は番組が低調だからあきらめはつかう▼案外なところで稼いでゐるのが朝日座の洋畫全プロで、封切館や洋畫をしよつちゆう使つてゐる所でヘタつてゐる頃か暑さの最中に稼いでゐるのだから皮肉である、初日の揚げ高は「歴史」の二日目を凌駕してゐたといはれる

高麗映畫社作品原作

腕づく半次 (56)

中川雨之助
西正世志畫

娘を所望だ

『平太さん、起きて……誰か來たやうだから……』

平太は、パッチリと眼を開いたが心氣の勞れで、まだ夢現の境に彷徨ふ如く、たゞ力の無い瞳が、お藤の顏を視つめた。

『確りして……平太さん』

もう一ぺん、強くお藤が搖り動かした。

何か言はうとして、熱に乾いた唇を、平太が、動かさうとした時、

『今晩は〳〵』

と、今度は表戸をトン〳〵叩くのであつた。

それで、初めて正氣づいて、むつくりと平太は起上つた。

『お孃はん、心配しなくても宜い。脇差を早く!』

早速、お藤は、脇差を抱へて來て、渡した。

『今晩は〳〵』

だん〳〵激しく表戸を叩き立てる音に、お藤は、自分の胸を打たれるやうで、いまにも息が絶えるかと思はれた。

『開けろッ。開けなきや叩きこはすぞ!』

言ふが早いか、メリ〳〵と戸をコジ開けた表口から濡鼠の曲者が、一ト固まりドヤ〳〵と崩雪れ込んで來た。

覆面をしてゐるので、一人も顏は分らないけれど、その扮裝から想像して、穩場の浪人組に違ひないと思はれる荒くれ男が七八人、手に〳〵白刃を突つけて、お藤、平太の兩人を、物凄く取卷いた。

無論土足のまゝである。おまけにビッショリ濡鼠の全身から、ボトリボタリと雫が垂れて、疊の上も、まるで泥濘の狼藉。

『ヤイ〳〵死ばり損なひの平太、能く聞いて置けよ、竹の塚一家の繩張は、否應無しに、スッカリその儘、神風組へ貰つたぞ……と、改まつて一々、斷りを言ひに來るには當らねえか、くやしけりや、腕づくで取りに來い、何時でも相手になつてやるぞ』

と、中でも頭立た一人が嘲笑つた。が、どうやら、頭目の陣十郎は、この中には混つてゐないらしい。

すると、また一人が言つた。

『そこで俺達が、雨の中をわざ〳〵斯うして出張つて來たのは外ぢやねえ。纏張以外に、まだ所望の物があるからだ。その娘を貰つて行くからさう思へ。サアー娘來い!』

と、言ひも果らずその男は、猿臂を伸べて、お藤の腕を掴みに來た。

『あれッ』

と、その手を振拂つて、お藤は平太に獅嚙みついた。

平太は、それを抱へ込むやうにして、

『ヤイ、此奴等。指一本でも、お孃はんに觸れて見ろッ、承知しねえぞッ』

と、叫んだが、それは弱々しい病人の聲である。脇差を握つた手先が、わな〳〵とふるへるほど衰弱してゐるこの男に、果してお藤を救ふことが、出來るであらうか。

『はゝゝゝ豪いぞ平太、それでこそ、竹の塚一家を背負て立つ貫祿が有るといふものだ。だが、いくら竹の塚の大黒柱でも骨と皮のその姿ぢやあ、睨みが利かねえ。サア、氣の毒だが、宜い加減に娘を渡してしまへ。この上、邪魔立てすると叩ッ斬るぞッ』

と、一人が、土足で、蒲團を踏まんばかりに迫つて來た。

口惜しさ無念さ、平太は骨身を刻まれる思ひだが、足腰も自由に立たぬ身をもつて、所詮、腕づくでは、お藤を救ふことができないと覺つてみれば、自分の命を、投げ出ずより外は無い。

そこで彼は、悲愴な叫びをあげた。

MASAYOSHI

商況 二四日前場

每外電報

倫敦金塊 休
倫敦銀塊 ・
同先物
紐育金塊
紐育銀塊 み

▲外國爲替

米英爲替	三弗七三仙二分一
米日爲替	二三弗四七仙
米支爲替	六弗三〇仙
英日爲替	一志五片八分一
英支爲替	四片四分一
英佛爲替	一七六法五〇
米獨爲替	四〇仙一〇

▲紐育株式

スチール株	五三弗〇〇
アナゴンダ株	二一弗〇〇

▲紐育棉花

現物	一一仙〇二
七月限	一〇仙二五
十月限	九仙四一
十二月限	九仙二六
一月限	九仙一二
三月限	八仙九七
五月限	八仙八一

▲印棉

ブローチ	一七四留比〇
オームラ	一五七留比四分三
ベンガール	一二六留比〇

各地株式市況

▲新京株式(短期)

	寄付	大引
新東	一三九九	一三九五
大新	七一八	七一四
鐘紡	一六八六	一六七四
同新	一〇四七	一〇四五
帝新	一〇四九	一〇四四
洋	八六七	—
日魯	七六五	七三四
日鐵	—	七四六
郵船	一〇二一	一〇一〇
同新	八五三	八四六
日石	七九五	七九〇
日立	八二七	八一七
滿業	七三三	七一二
電工	—	—
東電	六四九	六四六
日電	—	—
滿鐵	七一〇	七一〇
鐘新	—	—
日曹	六一五	六一二

▲大阪株式(短期)

	寄付	大引
大新	七一九	七一二
新鐘	一〇五一	一〇四六
鐘紡	一六七一	一六七六
滿業	七一七	—
日魯	七三五	—
帝新	—	—
商船	九九九	九九四

▲大連株式(短期)

	寄付	大引
五品	三二八	三三五
大新	七一八	七一四
新東	一三九四	一三八九
滿業	七一二	七一二
鐘紡	一六七三	一六七三
同紡	一〇四五	一〇四三
滿鐵	七八六	—
豆新	—	—
土木	一九四	一九二

各地商品市況

▲大阪綿布

六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]

大阪棉花

	納	會
六月限	—	—
七月限	—	—
八月限	—	—
九月限	—	—
十月限	—	—
十一月限	—	—
十二月限	—	—

▲大阪期米

當限	—	—
中限	—	—
先限	—	—

▲大阪人絹

當限	—	—
五月限	—	—
六月限	—	—
七月限	—	—

▲橫濱生糸

六月限	一四五一	一四五〇

七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
現物	[illegible]	[illegible]

火曜 六月二十五日
己亥 赤口 執 尾宿
舊五月二十日

東京・本郷・神誠館

●一白の人 細心の注意を拂ひ和合を保ちて進むが吉し 南と辛と癸が吉

●二黒の人 健實味を缺きは目上に見離さることあり 丁と辛と艮が吉

●三碧の人 人を頼りにする時は何事も鈍りを生ずべし 丁と辛と甲が吉

●四緑の人 謙遜なれば追追と信用を増すべし物始め吉 丁と甲と癸が吉

●五黄の人 外より憂ひ事の生じ來り易し世話事は注意 丁と甲と辛が吉

●六白の人 目に見えても手に取れず大望を起せば失敗 巽と丁と癸が吉

●七赤の人 石の上にも三年と云ふ諺あり辛抱すべし 巽と甲と丁が吉

●八白の人 出費のみ多くして其れ丈の效果の擧らぬ日、甲と丙と坤が吉

●九紫の人 行ひ正しければ目上の助けありて大發展す 甲と丙と乾が吉

大正九年十一月十四日第三種郵便物認可

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ケ月一圓
郵稅　一ケ月十五錢
廣告料金　普通一行一圓五十錢
特別同　二圓五十錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二三五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　和波〓然
印刷人　水越內之介

皇帝陛下御召艦 九州南端を御通過

高千穗の靈峰を御遠望

【海軍省公表】＝（廿四日御召艦日向艦長發海軍武官府入電）＝今朝はるかに九州の山影を望む、朝夕來風速十六米前後南東の强風連吹し未だおさまらざるも天候晴れ、海上白波立ち艦體僅かに動揺を感ずるも皇帝陛下には御機嫌麗はしく拜せられる、今夕御召艦日向灘御通航の趣きを拜承する宮崎縣民は感激一入深く、恐懼遙かに奉迎の誠を表する旨同縣知事、市長等より入電ありたり

海軍省公表＝（日向艦長廿四日午前十時發、海軍武官府入電）＝廿四日午前十時御召艦位置概列島南西七哩、遙かに九州の山影を望む、天候晴れ、九州南端に向針す、洋上に第二夜を明けさせられたる皇帝陛下には御機嫌麗はしく拜せらる、今夕は日向灘において皇祖發祥の聖峰高千穗峰を御遙拜遊ばさる御豫定と承る

海軍省公表＝（日向艦長發廿四日午後二時三十分海軍武官府入電）＝廿四日午後一時より午後二時三十分にわたり御召艦日向、警衛驅逐艦朝雲は九州南端を通過す、開聞嶽（一名薩摩富士）はその端麗なる姿を海上たかく浮べ、滿洲國皇帝陛下御一行の御訪日を奉迎しつゝあり、陛下には双眼鏡を御手に親しく開聞嶽及び九州方面の山河を賞でさせられ、側近者に當地方の民情產業等につき御下問あらせられたり、本日天氣快晴にして浪あれども氣爽やかなり、熙宮內府大臣、張侍從武官長、星野總務長官、鹿兒島宮內府次長をはじめ各隨員も極めて元氣にして艦橋より當方面の風物を賞しつゝあり、隨員中には初めて日本の風物に接するものあり感興特に深きものゝ如し

海軍省公表＝（廿四日午後五時日向艦長發海軍武官府入電）＝廿四日午後四時卅分日向灘に入り風波次第にをさまる、北西方遙か白雲の中に高千穗の靈峰を仰ぎ日向及朝雲の乘員は嚴かに遙拜す、この佳き年聖地の名に因む日向の乘員として御召艦の任務に服するの感激一入新たなるものあり、皇帝陛下にあらせられては遙かに高千穗の靈峰を御感慨深く敬虔なる御態度をもつて御遠望あらせらる、この夜宮崎縣紀元二千六百年奉祝會は八紘の基柱に點燈照明し奉迎の意を表はすとのことを聞召され御滿足あらせらる

御留守役大臣 御機嫌奉伺

肇國の靈峰高千穗を遙か御望見、御感慨も深げに東航あそばされる皇帝陛下の御機嫌奉伺のため張總理始め御留守役の各大臣、札興安局總裁ら連名で廿四日午後五時御召艦日向に扈從の熙宮內府大臣あて御機嫌奉伺の執奏方を打電した

四平街を中心とする新省設置決定す

奉天吉林省を再整 來春早々準備完了

政府は經濟、產業、治安、交通上各般の要請に基き省政の浸透を期するため八市十二縣よりなる奉天省並に吉林省の行政區劃を再整し連京線四平街市を中心に新に一省を新設する方針を決定した、新省の區劃は奉天省四平街市以北並に吉林省長嶺、伊通兩縣南部を以て構成し大體來春早々設置の準備を完了する豫定である、尙これにより滿洲國の行政區劃は現行十八省より十九省となる譯である

國務院決定事項

二十四日の定例國務院會議は午後一時より總理官邸に開催、左の二件を上程可決午後三時半散會した

一、滿洲里街に地方稅法を適用するの件

一、整理公債法中改正の件

擧國政治體制の確立の爲に努力

近衛公、所信を表明

【東京發國通】近衛文麿公は廿四日樞密院議長を辭任するとともに談話の形式をもつて時局に鑑み蹶然起つて新たなる擧國一致の政治體制確立のため邁進する旨左の如き聲明を發表、その所信を明かにした

內外未曾有の變局に對應するため强力なる擧國政治體制確立の必要は何人もこれを認めるところである、自分は今回樞密院議長を拜辭、かくの如き新體制の確立のために微力を捧げたいと思ふ、最近頓に活潑になつた所謂新黨運動もこの新體制確立といふ意味ならば眞に結構である、しかし單なる既成政黨の離合集散や眼前の政權のみを目標とするが如き策動であるならば自分はこれと事を共にすることは出來ぬ、擧國體制の具體的內容、これを具現すべき方策などについては各方面の意見も聽き愼重なる考究を遂げたるうへこれが實現に努力しようと思ふ

樞密院副議長に 鈴木貫太郎大將

【東京發國通】樞密院副議長の後任については廿四日午後三時原新議長の親任式終了後首相官邸において米內首相と原新議長との間において詮衡の結果鈴木貫太郎大將を推すことに意見の一致をみた、よつて米內首相は同日午後四時半宮中に參內天皇陛下に拜謁仰付けられこの旨內奏、同五時半左の如く親任式がとり行はせられた

任樞密院副議長　海軍大將正二位勳一等功三級男爵　鈴木貫太郎

近衛公に總理大臣禮遇

【東京發國通】畏き邊りでは樞密院議長を辭任せる近衛文麿公に對し特に內閣總理大臣としての禮遇を賜はる旨廿四日仰出された

温古集

―前略―御序の節市民諸君に宜しく御鳳聲下され度候
去る三月離滿後陸軍航空に轉じ五十の手習ひには候も大いに若返つて每日大空を飛翔し練武に精進しつゝ明日の御奉公に備へ居り候
濱松陸軍飛行學校　遠藤少將

陝西共產軍を猛爆

【太原廿四日發國通】陸鷲山崎部隊の〇〇機は廿四日賀龍麾下共產第百廿師三百五十九旅の根據地たる陝西省の綏德を爆擊多大の損害を與へたが晉西北地區におけるわが猛擊に呼應して連日の如く陝北後方據點の爆碎を行つてゐる陸鷲の活躍に今や同地區の敵は收拾すべからざる大混亂に陷つてゐる

作戰を防害 英に嚴重抗議

【深圳廿四日發國通】わが精銳の英支國境方面への進駐に伴ふ英國側の動きについては現地軍で注視してゐたが、廿三日午後英國側が國境近傍において攻擊演習を行ひ作戰遂行中のわが軍に多大の支障を與へたので軍は斯かる行爲は明らかにわが軍事行動を妨害する措置となさざるを得ずとし廿四日英國側に嚴重抗議を提出した

敵機宜昌附近を盲爆

【〇〇廿四日發國通】廿三日午後三時敵八機は宜昌附近を盲爆、遠く郊外美孚石油タンク近くに數發の爆彈を投下し支那人十六名爆死四十名爆傷、米國汽船一隻も爆彈の破片を受けて破損した

滇緬香港兩ルートの閉鎖要求

我方、英政府に嚴重申入れ

【東京發國通】佛印の援蔣行爲はフランス政府が帝國政府の要求を全面的に容認したので今後その跡を絕つことゝなつたが帝國政府は更に對支輸送物資禁絕を申入れることに決し廿四日午前十一時谷外務次官は次官々邸にクレーギー駐日英大使の來訪を求め、有田外相の代理として「ビルマならびに香港領域を通過する援蔣物資を即時禁絕すべく英國政府において有效的措置を講ぜられたい」旨の嚴重なる申入れを行ひ英國政府の回答を要求した、これに對しクレーギー大使は早速右の申入れの趣旨を本國政府に傳達すべきことを約して十一時卅分辭去したが、これに對する英國政府の回答は極めて注目される【寫眞は谷次官（上）とクレーギー英大使】

倫敦に佛臨時政權

對獨抗戰繼續を宣言

【ロンドン廿三日發國通】佛抗戰派の急先鋒ド・ゴール前國防次官は二十三日BBC放送局を通じてロンドンに佛臨時政權の樹立を宣言、英國の滿幅的支持の下に新政權は飽くまで對獨抗戰を繼續する旨發表した

英援助聲明

【ロンドン廿三日發國通】英國政府は廿二日午後ボルドーの現フランス政府否認を聲明するとともに、ロンドンに樹立されたド・ゴール將軍を首班とするフランス臨時政權を承認する旨左の如く聲明した

英國政府は佛臨時政權樹立提案に關する通告を受けたこの政權こそフランスの國際的義務を遂行しつつ戰爭完遂を決意した獨立的なフランス國民を代表するのである、從つて英國政府はこの臨時政權を承認し而して右政權が共同の敵に對する抗爭を決意した總てのフランス市民を代表する限り、右政權とともに戰爭遂行に關する一切の事項を處理する意向である

休戰條件手交

伊、コンミユニケ發表

【ローマ廿三日發國通】佛伊休戰交涉は廿三日午後世界の注目裡にローマ郊外元駐佛イタリー大使マンツオーニ伯未亡人シルヴイア夫人の別莊「ビラ・マンツオーニ」において開催されたがイタリー政府は右に關し廿三日夜左の如きコンミユニケを發表した

佛伊休戰交涉は本日ローマを去る廿キロの地點において行はれ、午後七時卅分イタリー特使はフランス全權特使に對し休戰に關する條件を手交した右休戰協定交涉席上にはイタリー側よりはチアノ外相、バドリオ總參謀長カバニアリ海軍總司令、プリコロ空軍總司令、ロアツタ參謀次長が出席しフランス側よりはアンチジエ將軍、ノエル大使、ベルジユル將軍、ルリユツク提督が出席した

佛副首相ら任命

【ボルドー廿三日發國通】ペタン首相は廿三日元首相ピエル・ラヴアル氏を副首相兼無任所相にアドリアン・マルケー下院議員を無任所相にそれぞれ任命した

精銳主義編成へ

政府、特殊會社人事運營に“質”への轉換發令

國內諸開發計畫の進展と各種統制政策の强化ならびに時局の要請に基く行政機構の整備擴充に伴ひ最近政府職員、特殊會社、特種團體準特殊會社の社員が夥しく增加の傾向にあるが、政府は現下內外の經濟情勢に鑑み經費の節減を圖る必要あり、且つ最近における人的資源拂底の實情に對處するためこれら職員の增員を極力規制、所謂精銳主義による人事の計畫的運營を圖ることゝなり、左の如き方針を各部、局、特殊團體、特殊會社、準特殊會社に對し廿四日示達した

△政府各部局に對する人事運用方針

一、職員の養成訓練に格段の意を用ひ量より質への轉換を企圖し、職員の素質及び能率の向上に努むること特に滿系職員の養成訓練に重點を置きこれが積極的活用を圖ること

二、定員の編成については政務の比重を稽へ重點主義的運營に順應し必要なる再編成を考慮すること

三、編成定員上における日系定員の新規增は理想比率に達するまでこれを認めず

四、康德七年度中における定員の取扱ならびに職員の採用については爾今左によること（イ）爾今新規事業に伴ふ定員の設定は止むを得ざるもの〻外之を認めず（ロ）本年度承認せられたる豫算定員中薦任又は委任官たる行政官（警察官を除く）司法官（刑務官を除く）及び事務雇員については中央官署にありてはその一割、地方官署にありてはその五分を使用停止とす、但し科長以上又は之に準ずる薦任官はこの限りに非ず（ハ）豫算定員の使用停止に伴ひ事業又は事務の運營上支障あるものについては各部局、又は省を一單位としてその內部において定員の流用を認む（ニ）豫算定員上特に制限を設けざる行政官、司法官、技術官教官及び技術試補ならびに技術雇員についても可及的實員の充足を制限すること（ホ）日系事務職員の新規事業に伴ふものを除き原則としてこれを行はざるものとす

△特殊團體、特殊會社、準特殊會社に對する人事運用方針

一、各種事業の重點主義的運營とこれに伴ふ資材關係を考慮し職員の現在配置につき再檢討を加へ速かに人的陣容の編成替を實施すること

二、職員の配置の再編成に當りては以下各號の趣旨を充分に反映せしめ積極的職員數の削減と經費の緊縮を圖ること

三、人事方針として所謂精銳主義を堅持し職員の養成訓練に重點を置きその素質及び能率の向上に努め量より質への轉換を圖ること

四、滿系職員の活用方針を確立し職員の構成につき日滿比率を設定すること

五、日系事務員の新規採用は本年度及び明年度中一切之を停止すること、但し新規事業に伴ふ最少限度の現員に特殊の學術、經驗を要する職員の新規採用については事前に監督官廳の承認を得たる場合は之を容認す

六、新規事業に伴ふ增員及び日系職員の缺員補充に當りては努めて滿系職員を以て之に充てること

七、日系技術員の新規採用については特に制限を設けざるも前三號の趣旨を尊重し努めて增員を自制すること

八、前各號の趣旨に基き康德七年度及び八年度の年次別人事計畫を早急に樹つること

九、人事運用上道義性の發揚に努め職員の引拔を誘發するが如き一切の措置を自制するとともに職員の待遇及び給與の改善を目的とする給與制度の改正又は人事の運用は當分の間一切之を考慮せざること

敵トーチカを爆破

豐樂河西の敵陣に迫る〇〇部隊

陸軍參謀長會議

【東京發國通】本年度陸軍各軍師團參謀長會議は廿四日より廿八日まで開催されることになり、第一日廿四日は午前九時一同陸軍省に參集、中央部より閑院參謀總長宮殿下をはじめ奉り澤田次長以下各部課長列席總長宮殿下の訓示あつての ち同十時一同宮中に參內、天皇陛下に拜謁仰付けられ宮中退出後再び陸軍省に參集參謀本部所管事項につき會議を行つた

人事往來

小山外務次官歸國　北中支よりの歸途滿洲視察中であつた小山外務政務次官は關東軍、滿洲國政府方面との意見の交換を終へ二十四日午後一日四十分發あじあで萩原外務書記官を帶同南下歸國の途についた

▲立野昌之氏（東京帝大講師）二十四日來京ヤマトホテル
▲居生次郎氏（淸水組社員）同大都ホテル
▲南官政吉氏（日滿商事社員）同
▲靑野庄松氏、龍井建築業　同
▲織川正造氏（會社員）同
▲砂澤旭氏（キリンビール會社社員）同國際ホテル
▲田中力太氏（北安木材商）同
▲新井十三氏（黑河生必）同
▲網代筆三氏（著述業）同
▲深井史郞氏（同）同
▲村松運彌氏（同）同
▲山田光登氏（綏化電々社員）同松屋ホテル
▲原精旗氏（大連西山鐵工所）同
▲松田巽彥氏（哈爾濱電々社員）同
▲西山信夫氏（泰天電々社員）同
▲桃木長治氏（鞍山昭和製鋼所）同滿蒙ホテル
▲增田譽一氏（ツーリストビユーロー奉天支局）同
▲山地基逸氏（滿洲特產專管公社重役）同三國ホテル
▲吉田淸庸氏（同社員）同

玄武眼

佛蘭西はつひに獨逸の提示した休戰條件を受諾し伊太利と交涉中と傳へられる。そして昨報は英國が佛國政府に對して國交斷絶を通告したといふのであるから、獨伊對佛の和平は成立するものと考へられる。この時に當つて、日本の對歐洲外交に大轉換を要求する聲が昂まつてゐることは極めて注目を要するであらう。すなはち從來の不介入といふ態度では足りないとするのである。これを實際に考へても、歐洲戰爭のために日本は非常な影響を蒙つてゐる。貿易關係に於ける大きな障害の發生、滯歐日本人が直接被つた損害、そして船舶航行貨物輸送の上にもたらされた被害は直接的な影響である。それのみでなく、歐洲戰爭は歐洲のみの戰爭として濟んでゐない。交戰諸國が東洋に多くの植民地を有つてゐることは、歐戰の影響を微妙に東洋に波及せしめてゐる。この事は戰局の進展につれて一層增大せずにはゐないであらう。かかる事態を考へ、更に將來の事を考へれば、單なる不介入といふ如き方針では充分でないのであつて、何らかの建設的な日本獨自の自主的な立場からする新しい世界政策の具體化が要求されてゐるのは當然だと言へるのである。それは東亞に於ける新しい秩序の建設といふことを主眼としそれに相添ひそれに力を加へるが如きものでなくてはならぬであらう。英佛の東洋からの一步退却の後に來るものは何であるかそれらの國の植民地はどのやうに動くであらうか米國が愈よ米大陸モンロー主義の强化を圖らうとしてゐることなども注目されるのである。機に乘じて進出を圖つてゐるソ聯も存する。われわれは新支那建設の今後に眼を注ぎつゝも、全世界の大きな動きに對してもつねに深い關心を持つてゐなくてはならぬのである。

資金計畫の大壓縮は
圓資金不足から
必然に重點主義へ

全滿主要會社の本年度資金計畫をどの程度にまで壓縮するかは去る三日の國務院會議で決定された本年度資金計畫調整要綱に於て大體二十億圓を限度とすることに根本方針の決定を見てゐたが、その後經濟部に於て主要特殊會社當局と個々に折衝を重ねた結果、當初の方針通り總額に於て約二十億圓程度に査定を完了した

即ち經濟部では本年初め五ヶ年計畫關係の主要會社約一〇五社に對し本年度資金計畫の提出を命じ、これ等各會社より報告された資金計畫を集計すると總額約二十六億五千萬圓の巨額に達したので、その後日滿物動計畫、爲替計畫及本年度五ヶ年計畫實施方策等の決定するに伴ひ、早晩右の報告額を重點主義的に壓縮する必要を感じてゐたが、時恰も年初以來不圓滑化しつゝあつた圓資金調達が今日に至るも依然不透明な狀態を續けてゐるばかりでなく、今後益す窮屈化する惧れが濃厚となつて來たので前記の如く申請總額に對し二割五分といふ大幅削減を斷行するに至つたものである

かくの如き會社事業資金の大々的引締めの原因がどこにあるかについては、いろいろの見方があるが、これを對外的原因に大別し考へて見るに

先づ第一に擧げなければならないことは、日本起債市場に於ける資金不足である

最近に於ける日本金融基調の大きな變化として指摘し得ることは事變公債の優先的消化並に流動資金需要の急增に伴ふ平和產業並に圓域向資金供給餘力の貧困化である

尤も銀行側としてはそれが商賣である以上有利確實なる投資口さへあるならば、手許資金はなる程窮屈であるとは謂へ、對滿投資だからといつて忌避的態度を執ることもあるまいとられ見るが要するに募債需要の旺盛さに比し應募氣力には限度があるのでシ團側の鼻息が强くなつたことは事實だ

遊資過剩時においては食を投げてやりさへすれば直ぐ飛び付くのが起債界の通則であるが、最近の如く窮屈時においては選り好みが相當働く、のみならず資金に對する政府の統制力は資材に對する程に强く働いてゐない、今日の現狀では物は事實上政府の管理下に置かれてゐるといつても過言でない程その統制は廣汎にして且つ强力であるが、金に對しては爲替管理や資金統制が實施されてゐるとは謂ふものゝ「金はやつぱり銀行の掌中にあるのだ」といつた感じである、從つて滿洲國側の圓資金調達所要が假りに大藏省當局なり興銀なりとの間に決定されたとしても計畫はあくまでも計畫に過ぎず、實際上資金をもつてくるにはシ團側にツムヂを曲げられゝば手も足も出ぬといふのが現狀である、だからシ團の向背如何は滿洲國にとつては決定的な壓力をもつてゐる

滿洲國側の日貨公社債發行については、日本の金融狀況並に起債市場の消化力と步調を合はせて行ふべきことに、昨年一月日滿兩國政府當局間に諒解が成立してゐたが、本年度日滿物動計畫決定に際しても、企畫院大藏、商工、對滿事務局等關係當局は滿洲國側の各種事業計畫が物動計畫に比し餘りに尨大に過ぎることを指摘すると共にその資金計畫に於ても日本起債界の狀況に比し相當難點のある事を述べ、原案に對する重點主義的再編成を要望した、これに對し滿洲國側にも無論日本側の要望に應ずる方針であつたが、日本側では過法に於ける滿洲國側の要求が兎角强硬に過ぎた嫌ひがあつたので「滿洲國は厄介物」といつた印象をもつてゐたことは蔽ひ難い事實だ

こんな事情で日本關係官廳筋では「滿洲國はその事業計畫を內外狀勢の緊迫化に對應して壓縮せよといくら言つてもきかないから、差し當り資金部面を引締めてやれ、物の側での統制だけでは闇取引等の關係で實效を期し難いが、資金部面から統制を强化すれば兩々相俟つて完全に日本側と步調を一にせざるを得ないであらう、元來滿洲國の五ヶ年計畫はその經濟力に比し餘りに尨大であり巨額の資本を擁する事業會社を濫設する傾向があるので時局インフレ的傾向を自分で造つてゐるではないか、尻ぬぐひばかりさせられては迷惑だ」といつたやうな意向を有してゐるやうである

然しながらこれは時局感情論である、例へ日本の資金不足は假りに事實であるにせよ物資補給が昨年度以上のテンポで行はれてゐる限り資金供給のみをチェックするといふのは理屈が立たない、いくら資金がないにせよ誠意さへあれば一億や二億の資金補給が出來ない筈はないとすべきであらう

對北支受拂資金
調整への動機

政府はさきの國務院會議で決定された本年度資金計畫要綱に基き本年度資金の調整と並に對日受拂資金の調整と相並んで對北支受拂資金の調整に乘り出すこととなつたが何故にかゝる調整措置を講ぜねばならなくなつたか、先づ結論から先に述べよう

昨年度に於ける滿洲國の對北支國際收支尻は(關東州を含む)貿易並貿易外收支を通じて結局約七千萬圓見當の支拂超過となつてゐるが、この收支尻の大部分は種々の事情で本年度にその決濟が繰り越されてゐる、そこで滿洲國として差當りこれを決濟する必要があると同時に今後もかゝる收支尻を示現するに於ては國際收支均衡保持の見地から何等かの改善方策を講ずる必要が生ずるに至つたのである

しかして前記收支尻における支拂超過の主なる原因は色々の事情から北支に持込まれた滿洲國幣の回收に基因するものであり、昨年度の國幣回收額は約六千五百萬圓程度に達した

斯くの如く滿洲國幣の北支輸出又は送金の增加はこれを北支側の立場に立つて見れば右國幣輸出額に相當する聯銀券の發行を增加せしむる一因をなしてゐるといふべきである

問題の理解を深めるため昨年度における對北支收支の內容を一瞥しよう

先づ貿易收支においては輸出一億七千萬圓、輸入四千三百萬圓、差引出超約一億二千七百萬圓であり、貿易外收支においては受取五千百萬圓、支拂一億八千百萬圓差引支拂超過一億三千萬圓となつてをり、結局貿易並に貿易外收支を通じて三百萬圓餘の支拂超過を示してゐるしかしながらこゝに注意すべきことは右の支拂項目の他に前記の如き國幣回收額の存在することである

昨年度回收實績は前にも述べた如く約六千五百萬圓の巨額に達したゝめこれを考慮に入れるならば、對北支支拂超過額は右の三百萬圓を併せ結局六千八九百萬圓となるわけである

右の支拂超過額は關東州を含めた計算であるが、いま關東州を除いた滿洲國プロパーの對北支收支尻は如何といふに貿易統計だけでは正確なる數字は算定困難であるが大體の推定では關東州よりの對北支輸出額は七千萬圓乃至九千萬圓見當と見積られてゐるので、この數字を基礎とすれば滿洲國の對北支支拂超過額は一億數千萬圓に達するものとみられる

對北支收支實績における支拂超過の主なる原因が國幣の北支への搬入にあるとするならば、これはいかなる目的をもつて搬入されたものであるか、これには各種複雜なる事情の存することはいふまでもないが、大體左の如き事由が擧げられる

一、聯銀券の實質價値下落に反し國幣價値は不動の定安性を保持し、その信用は益す强固であるため兩者は名目的には等價であるが、現實には往々國幣券にプレミアムを生じてをり、これを利用する投機賣買の對象として持ち込まれたこと

二、北支への旅行者又は入滿苦力の北支歸還に際しての持込みが相當增加したこと

三、在滿中小商工業者が爲替管理の法網をくゞり北支に於ける事業經營資金として持ち出した額が相當額に達したこと

四、密貿易に伴ふ搬入

以上の如く國幣の北支への搬出はその多くが非合法的なものであるが、他方消極的原因として搬出の機會を與へたものは北支に於て國幣の流通を默認したことこれである、然るに去る六月十五日限り北支に於ける國幣流通は禁止されることとなつたので、最近では多額ではないが現に北支に滯溜してゐる國幣は聯銀當局によつて回收されつゝあるので、右回收額は圓資金を以て決濟するか、又は物資輸出を以てカバーする必要が生ずるに至つたのである

かくて對北支收支尻の決濟方法としては理論上では金の現送によるか、第三國爲替資金によるか、物資輸出を以てするか、又は日圓資金を以てするか、何れかの方法を以てしなければならぬ然しながら金の現送又は爲替資金による決濟は滿洲國の現狀より見て全然實現不可能と見るべく、又物資輸出にしても數千萬圓による物資補給を短時日に行ふ事は至難であるので結局日圓資金を以て決濟する以外に途はないであらう、然しながら北支側よりすれば單なる圓資金への振替へだけでは滿足しない、何故ならその圓資金を以て日本よりの資材購入が許されなければ、實質上何等の意味を持たないからである、從つて北支側としては物動計畫なり、滿關支輸出調整令なりに基く物資割當を約束された圓資金であることを要求するであらうことは當然である

かくて對北支收支解決の鍵は先づ日本側がその決濟資金を滿洲國に融通してくれるか否か、また圓資金の融通と共にこれが裏づけとしての物資の北支割當を容認してくれるか否かに懸つてをり、他方滿洲國側に於ける對北支物資補給餘力が幾何あるかといふこの二點に懸つてゐると見ることが出來る

土建協會保證組合
設立難に陷る

新土建協會の誕生と共に協會加盟員の金融問題は土建協會に附設せられる保證組合(假稱)の保證によつて興銀より貸出を仰ぐことに大體の方針を決定してゐたが、最近に至り右保證組合に對する滿鐵並に政府の出資が困難視されるに至つた結果、保證組合の設立は見込薄となり土建繁忙期を控へてその成行は注目されるに至つた

即ち當初設立と豫定された保證組合は大體基本金を一千萬圓見當とし、出資割當を政府三百萬圓、滿鐵三百萬圓業者側六百萬圓と豫定してゐたところ政府の出資分三百萬圓について任意團體に對して政府は出資し得るものなりや否やとの疑念が生じたため結局政府は出資を拒むに至り、續いて滿鐵は自身の資金難から同樣出資困難を通達し來つたので、右保證組合の設立は遂に難關に逢着するに至つたので、これが打開策として土建協會では新たに業者のみをもつてする信託組合の設立を以てこれに代ふるべく計畫を新たに進めることとなつたが、資材難とはいへ土建界は逐次好轉しつゝある一面興銀が業者個人の貸出を引締める態度を堅持してゐる關係上、保證組合乃至信託組合の設立は焦眉の急務としてこれが解決方については關係機關でも可及的速かに萬全の策を講ずることになつた

日滿支連絡運輸會議
提出議題決定す

陸、海、空を通じて日滿支間旅客及び貨物輸送の連絡協議に關する具體策を協議する第二回日、滿、支連絡運輸會議は鐵道省、鮮鐵、滿鐵、臺鐵、華北交通、華中鐵道、大阪商船、日本郵船、日本海汽船、東亞海運、大連汽船、川崎汽船、大日本航空、滿洲航空、中華航空等の東亞に於ける重要交通機關參加の下に來る七月十二日から四日間奉天において開催されるが主なる提出議題は左の如く決定した

一、連絡運輸における旅客運賃割引制度の合理化を圖るため左記四項を檢討
　イ、往復及び廻遊旅客に對する運賃割引の統一
　ロ、特殊旅客運賃割引の再適用範圍及び割引率
　ハ、團體旅客運賃割引率
　ニ、東亞觀光圏の擴張
二、關釜觀光路を上級とする異級連絡乘船券發賣の廢止に關する件
三、日滿支連絡貨物直通運賃及び等級の改正に關する件(以上鐵道省提出)
四、非受取又は荷主不明貨物の返還不能のものについての運賃及び料金徴收不能の場合の處理法の統一に關する件(鮮鐵)
五、內鮮滿臺廻遊團體旅客運賃取扱ひ區域中に滿鐵所管の哈爾濱、佳木斯觀光路を追加するの件
六、通關事故貨物の發驛返還期間二ヶ月を一ヶ月に同無料保管期一ヶ月を十五日に短縮するの件
七、通關代辨手數料の再檢討に關する件(以上滿鐵)
八、左記旅客貨物運輸路開設の件
　イ、華北線と商船間に山海關—奉天—大連經由(滿鐵及び商船經由)經路
　ロ、華北線と商船航路間に山海關—奉天—大連(滿鐵經由)經路(以上華北交通提出)
九、日滿支旅客手荷物連絡運輸に省線—商船—大連航船—大汽、天津航路大連(三ノ宮又は門司、大連接續)を追加する件

その他提出議題は數十に上つてをり十五年度輸送計畫次期ダイヤ改正に付て打合せを行ふこととなつてゐる

國策に躍動する
滿洲の特殊會社(七)

滿洲興業銀行

滿洲中央銀行と並んで滿洲國金融界の双璧と謳はれる一方の旗頭に滿洲興業銀行がある、同行は康德三年十二月、滿洲國勅令第一七二號滿洲興業銀行法に基いて創設された滿洲國に於ける特殊銀行で、資本金三千萬圓、拂込資本千五百萬圓設立當時の滿洲國內の金融狀況は、發券銀行としての滿洲中央銀行があり、外に地方普通銀行、金融合作社等があつたが、後者の實力が未だ充實しなかつたため、中銀のみが支店網を擴大して一般普通業務を行つてゐた、然るに日本側金融機關としては、朝鮮銀行、滿洲銀行、正隆銀行があつたが、同行が金融機關整備の第一段階として、一般普通業務を行つてきた右の三行を打つて一丸とし、それらに附隨してゐた舊地盤をそのまゝ受け繼いで康德四年一月潑剌と限りなき前進のスタートを切つたのである、爾來四星霜、滿洲國經濟の發展に伴ひその重點たる豐富な天然資源の開發に要する產業五ヶ年計畫の一翼として參加、拂込資本金の十五倍の債券を發行し得る特權の賦與をうけ、滿洲國建國の上に巨大な足跡を印してきた、その一例として、康德五年九月日本市場に於ては日本興業銀行の委託募集として政府元利支拂保證額面一千萬圓を發行し更に六年三月第二回、同七月第三回、夫々一千萬圓發行、續いて七年四月第四回額面三千萬圓を一擧に發行毎回即日賣切の盛況を示したのである

その他滿洲國民衆の貯蓄を奬勵する目的の下に滿洲蓄債券を政府委託によつて發行した、即ち第一回は康德五年一月額面二百萬圓、更に同年八月第二回二百萬圓、十二月第三回二百萬圓六年六月第四回三百萬圓、十二月第五回三百萬圓、七年五月三百萬圓を發行、合計額面一千五百萬圓を發行し何れも所期の目的を達成し、國家經濟運行の上に多大の貢獻をなし得たのである

業務の擴充を期するため既に全滿五十五ヶ所の支店出張所を設け、尚二ヶ所の增設を準備中である、この一事を以てしても同行の躍進の目覺しさが窺へようといふものである

人材の配備陣を瞥見すれば、斯界の强剛、事業的手腕を以て鳴る富田氏を總裁に、副總裁として藩氏を据置、理事に杉田、一色、高橋、魏、鳥の何れ劣らぬ錚錚たる諸氏を持ち、特別監事に色部氏あり、監事に孫、張の二氏といふ素晴らしき豪華陣は同行の比類なき强味であり滿洲國經濟を双肩に荷負ふ鼎の重さを思ふは欣快の至りである

爽風颯々たる大興ビルの二階に、いまや國策飛躍線上に阿修羅の活動を續けてゐる同行の前途は、輝かしき國運の伸展と相俟つて正に端倪すべからざるものがあると云ふべきである

哈市卸賣物價

中銀調査=五月中の哈爾濱卸賣物價は雜穀燈火及び燃料の昂進を主柱に建築材料並に紡織品がこれに拍車して依然上進步調を持續、月中總平均指數は二一二・六と對前月比二・八%、對前年同期比三〇・四%の騰貴を示した

中銀帳尻

二十一日の中銀帳尻左の如し(單位千圓)

紙幣	六二一、二九一
鑄貨	三七、三九九
預金	二九七、一〇四
貸出	九八一、六七四

金魚酒

▽…「協和」所載消費組合賣場座談會といふのを讀む、かういふことを言つてゐる「サイダーは六本づつしか一人に賣らないんです、一打ほしいといふ奧さんが來て六本だけしか賣れないといふと、ぢや二回來ればいいんですねと言はれた」「さういふお客はチョイチョイあるね、ハンカチを二枚、その手で買つてわざわざ見せに來た、君はあんなことを言つたが到頭買つたぞと見せびらかす……」

▽…どうも困つた風景だと言はねばなるまい、米の通帳制などでも色々小さい摩擦はあらう、時局認識の實を平凡な日常生活の中に實行して行くことが肝要なのだが言ふは易く行ふは難い弊が隨處に見られるやうである

商況 二日 後場

各地株式市況

●大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
五品	三三九	三三〇
大新	七一三	七一四
新東	一三九一	一三九一
滿業	七一〇	—
鐘紡	一六七〇	一六六五
同紡	一〇四五	一〇四一
滿鐵	七六六	—
土木	—	—
豆新	—	一九二

●奉天株式(短期)

銘柄	寄付	大引
新東	一三九九	一三九八
滿業	七一二	七〇八
大新	—	—
鐘紡	—	一六二〇
同新	一〇四七	一〇四四
滿鐵	七八四	七八五

手形交換高(二十四日)

一五五三枚、四九九、〇九七圓

家庭

時事解説　軍備擴張を急ぐ米國

▼…米國國民の大多數が英佛の勝利を願つてゐることは確かでありませう。英佛の勝利は現狀維持派の勝利でありデモクラシーの敵たる全體主義の沒落を意味し、更に米國の生存圏たる西半球の安全を約束するからであります。

▼…しかし、蘭白戰線に於ける無慘な英佛の敗退と獨逸の偉力を見た米國は英佛援助を高度化してナチ獨逸の敗北を導くかそれとも英佛に對する好意的中立を守り續け乍ら、英佛の屈服を許すかの岐路に立たされたのであります。しかしルーズヴェルト現政府はその中間を選んで國防と英佛に對する經濟的援助を準備して居ります。獨逸の矢繼早の電擊戰法と英佛の退却に仰天した米國は友邦の危機よりも先づ自身の安全に不安を感じ始めました。現下の米國にとつての最大急務は軍備を擴充し獨逸に劣らぬ新銳兵器を整備し國防を堅固にすることであります。尨大なる軍備擴張がかくして實行されつゝあります。

強く正しい滿洲つ子を　パンパンと叩けば響く!　"兒童の胸"よ
はだし教育　櫻木小學校を訪ふ

大地に足を踏んばつた強く正しい滿洲つ子を育て上げようと云ふ興亞教育の直接的な表現として新京櫻木小學校では今年から全兒童に夏の間裸と跣足の教育を實施し見ちがへるほど強く逞しい兒童を育て上げ父兄間の好評を博してゐる

「はだしの學校」は數年前撫順東七條小學校から始つて新京では室町小學校が三年前から實行してゐるが頗る好成績なので漸次全滿に擴がらうとしてゐるもので、このはだしの期間は凍つてゐた大地が漸く春の暖みを持つ四月中旬から九月の末までで約五ケ月間登校の場合を除いては室の内外を問はず始終はだしといふいとも輕快な姿で勉強に運動に精進してゐる

南風が楊柳の樹間を吹いて涼風が一入戀しいこの炎天にパンパンとたゝけば鳴りさうな胸を精一杯ふくらませてパンツ一つの裸の子供達が素足のまゝ廣いグランドを飛び廻つてゐる、こゝには滿洲第二世の代名詞とされてゐる陰鬱な腺病質の子供は一人もゐないはりきつた赤い頰つぺたの兒童ばかり

「はだしの學校」新京櫻木小學校に山本校長を訪へば跣足と裸の教育に五年の體驗をもつ先生は確信をもつて跣足の效果を次の如く語つた

混沌たる文明の惡徳によつて傷けられたものの癒される唯一の道は大地に親しむより外に方法はありません、大地からは實にこよなき叡智と飽くなき強健さが養はれます 在滿第二世の教育もこの合理的自然生活から始められてこそ次代滿洲を双肩に擔ふに足る健康が得られ叡智はます〳〵鋭くひらめくことになるのではないでせうか

本校は一千五百名の男女兒童が五月から九月末まで登校以外は室の内外を問はず跣足を實行それと同時に男女ともパンツ一つの裸體體操（女子尋五以上を除く）で大地と太陽に充分の親しみをもたせて多の運動不足に備へてゐますがこれなら至つて輕裝で子供達はもうのび〳〵として氣持もずつと朗らかです 雨期の場合でも雨さへ降つてゐなかつたらぬかるみなどは物の數ではありません、たゞ硝子の破片だけには充分の注意を拂つてゐます

跣の效果といつて別に健康上統計に表はれた成績はないのですが或る醫師は大陸に多い脚氣體質には甚だ效果的であり又軍隊生活に不適とされてゐる扁平足の匡正には是非必要な生活法だと強調してゐます、子供たちは最初は多少痛がつてゐましたが今は全くなれて少し位の砂利の上でも平氣です、斯うして強い足を持つた子供達が將來滿洲國の護りとなる時のことを思へば愉快でたまりません

新京の日本人は"見榮坊"でお體裁や
▽…傳染病院の見舞客はお體裁や患者

滿洲に住んでゐる日本人（といつても主として都市生活者についてであるが）見榮坊で體裁屋が多いといはれる、中でも新京が一番ひどいらしい、先づ一寸停車場に行つて見る、列車の發着毎に夥しい送迎者の群にも吃驚するが、送迎の女性たちの服裝の華美なことも日本あたりでは滅多に見られない、まるで衣裳較べといつた觀がある

隣近所や同僚間などの家族的な交際にしても眞心からの親愛や尊敬をこめた交際といふのは少くて、おつとめ式の儀禮的な交際が多いのではあるまいか、一般に生活に餘裕があること、あまり轉勤などが多くてつひその場限りの交際に過ぎないことがこの精神を忘れた儀禮的なものにしてしまふのだらうが一應反省して貰ひたいことと思ふ新京特別市立千早醫院長安部篤惠氏談

この病院内でもこんな儀禮的な交際に非常に煩はされてゐる、當院は傳染病患者のみを收容してゐるのだが、毎日多數の見舞人が押かけて來る、これは日本では到底見られない圖で、儀禮的交際もこゝまで來ては病膏肓に入るといはざるを得ない

傳染性の危險な病氣だからこそ强制的に家庭から隔離する、だから家族であつても必要以外にはなるべく面會させないことにしてあるのだ、それを單に隣近所だからとか勤め先が一緒だからとかで「一遍位見舞つてあげなくては義理がわるい」といふやうな氣持で見舞にやつて來る人が實に多い、折角遠路來られても若し傳染でもしたら大變だから病院では出來るだけ面會を謝絶する「職務上の打合せがあるから」などといつて面會を强要する男の人もあるが、危險まで冒して傳染病の患者に面會せねばならぬほどの要務があるだらうか、當院では見舞人のために帳簿を備へつけて見舞に來られたことのわかるやうに記入して貰ふこととし、又是非にといふ人には附添人が代つて面會するやうに取計らつてゐるが別段大した用もないのに附添婦をわざわざ呼んで容態でもきかねば親切が屆かぬやうに考へた人が多いやうだ、附添婦は大抵二人か三人の患者を受持つてゐるので相當に忙しい面會人のために附添婦に再々病室を離れられては患者がどれだけ迷惑するかわからぬ

假りに面會を强要して許されたとしても直接病室に入り患者と面會することは非常に危險であるばかりでなく患者を疲勞させ病勢を惡化させることが多い、往々見舞に行つて其後に發病したといふ人があるのを見て他山の石とされたい

近親の者の止むを得ない面會もなるべく短時間にとゞめ、患者をあまり興奮させたり疲れさせたりしないやう注意せねばならぬ、これは傳染病以外の患者に付ても同樣で、病氣見舞の場合はよくよく考へねば折角の親切が却つて仇になつてしまふ

病人の見舞に飲食物などを携へて行くことは一般的におすすめ出來ないが、傳染病の場合は尚一層考慮して欲しい、當院では飲食物を病室に持込むことは嚴重に禁じてゐる

最近あまり見舞人が多く殊に消化器系の傳染病が追々增加して來たので面會人の取締を一層嚴重にし所轄警察の許可の無い者一切面會を許さないことにしてゐるので、中には監視の眼をぬすんで庭から病室の窓越しに患者と話をしたり品物を差入れたりする人を時々見掛けることがあるが、その人たちの衞生觀念や公德心のほども思はれて情ない氣がする

髪を削ぐ心得　うつかり削いでさあ大變!
"是非"パーマネント"の前に"

上手に髪を削ぐといふことはパーマネントをかける場合は勿論、これから夏向に涼しげに髪をとゝのへる上からも最も大切なことで、もさもさと多い髪の毛のまゝで最近

流行の髪型を拵へるのはむづかしい注文です、髪を削ぐのはパーマネントをかけたあとよりも、かける前の方が好都合です、そして削いでもらふ前に、大體これからの髪の形をきめておくのが大切です、アップスタイルにしたい方は後の毛を短く切つては困りますし、後にさげる場合に後頭部を適當に少くする必要があるのですアップスタイルを望む時は後の毛を長さ大體頭の上に屆く位にしておきます

髪が多くて、頭全體で削ぐ時は先づ分け目をきめて、そのまゝはりを五分程そのまゝにしておきあとを平均に削ぐと、分け目がきれいになつて短かい毛が立つやうな心配がありません、そして削くにしても短かく切るにしても段々に揃へてです、ブツツリと揃へて切るのは一番いけない事です、前の方のカールの毛も段々に短かく切るのが普通ですが、最低二寸二、三分位、それ以上の長さがないとカールの

保ちがよくありません、大體短かくて多いのはセツトがしにく、長くて少ない方が自由が利きます、毛の性質からいへば太い毛の方はなるべく思ひきつて削いだ方が扱ひ易いでせう

夏は後を刈上る方も多くなりますが、その場合はパーマネントをかけ、セツトした後に鋏を入れる方が失敗が少ないのです

"外米向"の辨當料理

炊き込み御飯（一人前）
白素干　一五瓦（四匁）
人參　三〇瓦（八匁）
油揚　一〇瓦（約三匁）
お米　一六〇瓦（一合）
ホウレン草三〇瓦、紅生姜五瓦
酢、醬油、お酒〇・四勺
鹽、油少々

白素干は洗つておき、人參と油揚と一緒に下煮しておきます、ホウレン草は靑くゆで、醬油洗ひをしておいて、御飯を炊いてお櫃に移す時まぜ合せます、蛋白質二四瓦、カロリー七〇〇

◇…御主人大喜びの"ビール"のお肴三種の作り方

▽…食パンを二分位の厚さに切りこれを更に橫に七八分に切ります、別に小海老の皮を剝ぎ、庖丁で叩き潰し、食鹽を入れてよく混ぜそれをパンに適度に塗つてサラダ油又は胡麻油で揚げます

× ×

▽…烏賊の背を開いて皮を剝き、よく水洗ひし酒に鹽を入れた中に十分位漬けておきますと少し柔かくなりますから、それを金串三本位にさし、あまり焦げない程度に燒きます、次に練りウニを茶匙一杯位皿に取り、大根の切り木口で摺りますと滑かになりますから卵の黄味半分位加へてよく練ります、それを烏賊の片面に小さい刷毛で塗り、それを火の上にかざし、ウニが乾く程度に燒いて供します

▽…生の南京豆をむいて微溫湯に入れ、甘皮を取つて下さい、次にそれをサラダ油か上等のラード油で揚げ、狐色程度で網杓子で掬ひ上げ、油を切つて白紙の上にのせ、豆の熱いうちに食鹽を振りかけます

鰹の一番に美味いところ

鰹の中で一番うまい所を御存じですか、脊骨に入つてゐる血、燒いて骨をしやぶつた味は忘れられないものです、骨を燒くと血が固まつて來ますから大きな骨ならばハシでつゝいて取り出すことも出來ます これは骨の中頭の太い所に多く入つてゐるものです、また腸の袋をしごいて中の食べ物を出してしまひ、一寸位に切つて、生醬油であつさりと煮つけた味も捨てがたいものです、これは盃二杯の酒と盃三杯の醬油の割でいりあげるやうにします

野菜果物類の▼…屑利用法

大根、人參、林檎、蜜柑その大抵の野菜、果物の屑を袋に詰め、風呂に入れますと身體がよく溫り肌がしつとりとしてきめが細くなり大變氣持のよいものです

又林檎、蜜柑などの皮で顏や手先をよく擦ると大變肌が滑かになります

松葉酒の作り方　この芳香がたまらない
▽…昔からの長壽强壯劑…△

松葉は昔から仙人や名老僧が代用食としたといはれまた松葉の汁、或は松葉酒は長壽强壯劑になるとか、その他いろいろ言はれてをりますが、學者によつては効くといふ人もあり、効かぬといふ人もあり確かなことはわかつてゐません、普通松葉酒を作るには松葉を水と砂糖と一緒にしてビンかカメに入れておけば、自然に醱酵して出來ますが家庭で勝手にお酒を作ることは法律で禁止してをりますから、以上のやうな方法では松葉酒は作れません。しかし、梅酒のやうに先づ燒酎を廣口のビンかカメに入れておき、その中に砂糖を燒酎一升に對し七二匁位の割即ち（一リツトルに對し百グラム乃至百五十グラムの割）に加へて、それに酸（清涼飲料の乳酸を四立方糎乃至五立方糎、或は酒石酸か枸櫞酸ならば二グラム程度）を溶かし、松葉をその容器にいつぱいになるまで入れるのです、かうして作れば松葉の成分がアルコールに溶けてしみ出し、特殊の芳香を持つたおいしい松葉酒ができます

ポケツト醫學
胃癌

一定の年齢に達した人で食欲不振を來して貧血を起し輕度の胃痛、胸やけ、胃の不快嘔吐が起つたりする場合は胃癌の疑ひが充分ありますから速かに信用のある醫師の診斷を乞ひ引つゞき定期的に診て貰ふことが一番安全な方法です

・冬着の解きもの合理的に入念に
"屑糸も利用しよう"

◇—冬中着よごした袷や羽織などなるべく早くそれぞれ處置しないとよごれの爲に布地をいためたりひどい汚點になつたりすることがあります、洗濯屋へ出すものも面倒でも自分の手で解いてから頼みますと解く時に亂暴に扱つて布地をいためる心配がありません、上手に仕立てて貰つたきものなど解くことによつてその仕立方のコツまで會得出來ますからなかなかたのしみなものです、解く時は縫つた順序の逆に解いて行くと無理がありません、手縫のものでしたら小型の日本鋏が一番使ひよいが若しミシン縫ひでしたら安全剃刀の刄が重寶です

◇—先づ要所々々の留めや結び目糸の繼ぎ目などを入念によく解いてから糸を拔き屑糸は捨てないでひとまとめにして置きます結び目や繼ぎ目をそのまゝ引ばりますと布地をいため解きにくくなりますから少し面倒なやうでも先に始末した方が能率的でもあります

◇—全部解き終りましたら折目にたまつてゐる埃をよくこそげおとし縫糸が殘らないやうもう一度調べます、若し殘り糸がありますとお洗濯の時糸の色が布地にしみつくことがあります、解いた屑糸のうち長いものは糸卷に卷き取つて置きますと端縫ひや繼ぎものには結構間に合ひますから糸類の乏しい時ですからたとへ一尺の糸でも捨てないで役に立てませう

桑野通子の御亭主宿賃踏倒す

松竹大船のお盆映畫〃愛の暴風〃の本讀が行はれてゐる際、主演の桑野通子の所へ福井市から至急電話がかゝつてきた、何事ならんと驚いて電話口へ出て見ると『あなたのご亭主が五百圓あまりの宿泊料を拂はずに何處かへ行つてしまつたので何とかして下さい』といふ挨拶、桑野二度びつくりして押問答の末やつと桑野の名を僞つて亭主と自稱した男の所爲と判明したが、桑野怒るまいことか『なんてひどい奴でせう、若し見つけたらツラの皮をひん剝いてやるわ』

滿映・運動會風景

滿映では二十二日午前十時から社員の體位向上並に慰安を兼ねて會社南側敷地に於て運動會を開催スター達も各種目に參加して珍プレーを展開初夏の燦々たる陽光を身一杯に受け乍ら樂しく一日を打興じ參加全員眞つ黑に日燒けして健康色を誇り合つた、滅多に野にも出ず太陽の光にも浴さぬ者の多い映畫人に取つて、面白く樂しく精神的にも肉體的にも快適な一日を過したことは好評を博してゐたが、滿映スターの此の運動會の一日を拾つて見ることにしよう

大はしやぎのスター達
牧野さんは蠻から聲

滿映　の演員さん達に取つては運動會なぞと言ふことは恐らく生れて初めてでもあつたらしい、而も御馳走は山と出る、ビールは後から後からマーチヨに積まれて運ばれる、空には萬國旗はためき、スピーカーからは「愛國行進曲」や流行歌の賑やかなメロデイが流れてくる演員達はそれだけでもう子供の樣に大はしやぎ、それぞれ賑いいでたちで

李燕　芬や白玫、鄭曉君、陶慈心なぞまだおとなしくしてゐるが、お酒がちよいとイケると言ふ張敏はビールをラッパのみ、ミス・新京の馬黛娟はアイス・キヤンデイを丸かぢり、男の方では劉恩甲　張書達の珍コンビが盛んに活躍、張書達なぞコンパスが長くて見かけばかりは如何にも早さう

正面　には甘粕理事長初め根岸、林兩理事が相好を崩してス

ター達の活躍を見守り、牧野製作部長は運動會總指揮官、盛んに蠻から聲をはり上げ王宇陪のおつさんは運動會委員として忙しく體を動かし郭紹義君は演員の應援團長として女演員達に黃色い聲を張り上げさせてゐる、戰機は刻々と熟し雌

御機嫌の甘粕理事長

パン食競走

スタ　ート・ラインにはみ合ふ程女演員が溢れた、鄭曉君、ミス哈爾濱の陶慈心、馬黛娟、張敏、季燕芬、孟虹等オール・スターキヤスト、中には太腿のあたりまでスカートを捲り上げて必死の形相をしてゐるものもある初夏の風がその下をくぐり拔けた、ピストルが鳴つて走り出した、パンがクローズ・アップされ金魚が餌を待つ樣に口をパクパクさせてスター見榮も外聞も忘れた、愼ましやかに氣取つてゐれば負けてしまふのだ、大口あけてパンを求めて口が右往左往する圖の壯觀さよ、だがあゝ遂に北京娘白玫さんは幾ら口を開けてパンを食ひ切らうとしてもパンは意地惡く逃げるばかり舌が何ん度もパンに觸れて

ても白玫さんはパンを舐めてゐる、遂に斷念して棄權したが

その　次さて男子組に代るとさアート大變、スタに並んだ彼等の目は一點に集中された、おゝあのパンこそ佳人白玫孃が

パンは何故甘い
〃〃〃〃〃〃〃〃〃見榮も忘れて舐めました

横から見るとペロペロ白玫さんはパンを舐めてゐる見たい、先頭がゴールに達し

舐めたパンなのだ、駈け出した彼等は忽ち一つのパンに群れ集つた、舐める舐める、あゝ之が白玫孃の舌の味である、怖るべし斯くて遂にはさしもの固パンも氷の如く溶かされてしまつたのである

二人三脚

之は　演員人氣の焦點で戰前スター達は各々パートナーと猛烈な練習を開始してゐた、ピストルが鳴つて飛び出すと孟虹、葉苓組は最初からトツプ、斷然他を引放してゴール・イン、甘粕理事長始め賞品授與者連綺麗なスター所が賞品を貰ひに來ると流石に嬉しさう

男の　二人三脚がいとやる方は見る方は良いが見る方はつまらんから早く女演員に番を廻させませうなどと密語、男の方ではデブの劉恩甲は流石に人氣

た

もの、劉恩甲は此のレースにまで三枚目を發揮、ピヨンピヨン飛び跳ねて珍妙な恰好で走り乍ら第四位、而も他の者は下位になると途中で棄權してしまふのに最後まで頑ばつた、あの態度は實に宜しい、天つ晴である模範とするに足る……

と言　ふ譯で甘粕理事長のお眼鏡にかなひ特賞を授與劉恩甲一代の面目を施し「アリガトゴザイマス」とピヨコンと頭を下げて歸ると「あれは中々良いナ」などと甘粕根岸、林各氏最高幹部間に好評嘖々、劉恩甲大喜びで奇聲を發し乍ら自席に歸るや此の英雄を迎へて演員間に歡聲起りまさに和氣靄々

スターの武士道
甘粕さん金一封

綱引き……

片や　白玫、季燕芬、鄭曉君等の女演員、片や女事務員、應援團は手の舞、足の踏む所を知らず狂喜歡喜拍手亂舞まさに白熱的な人氣である雨軍睨み合あつてぐつとお尻に力が入つた、力士以上にお腰に物が言ふのである、いざ來らば來れ、ブルブルとお尻を振つてウオーミングアップ、コンデイシヨンは上乘である「さア皆さん妾達非常時女性は綺麗ばかりが能ぢやない、國策女優の名にかけても此の榮冠を死守しなければなりませんと一同張り切つてロー

プを握つた、ヨーイ、ハイ此處に於て滿映女優陣の必死の力鬪に女事務員側じりじりと引きよせられ、あはやと思ふ間もなく力餘つた演員連ドスンと物の見事な尻もちをつきパアッと時ならぬ開花に滿場騷然、演

員連土の中にお尻がめりこまつて痛さうに顏をしかめる、暫し鳴り止まぬ歡呼の嵐の中に勇ましくも立ち上つた女演員連「地形が良かつた爲に妾達が勝つたのでせう、もう一度場所を代へて公平な勝負をしようではございませんか」と健氣に

も申し出でれば

此の　時甘粕理事長より聲あり「實に美しい武士道的な心懸けである最早勝負には及ぶまい、公平な精神と積極的な意志こそ推賞して餘りあるものである、日本人ならばいざ知らず貴女かたにその樣な見事な精神があるとは感心である」と金一封、花の滿映スター連大喜び、斯うして上の者下の者……日滿一如、喜喜として戲れ喜々として遊び和やかな一日を過し健康の上にも精神の上にも多くの銘記すべき成果を殘して第一回運動會を終へた

けは手に負へないと見えるそれとも、映畫でラブ・シーンのやれない不滿を彼女たちは私生活で埋合せてるのかいな

森川まさみと大庭秀雄監督のロマンスはもうお古い大庭監督の話が出たつ

▼…戀愛結婚大流行
妻のろトリオ
松竹大船の新名物

◈……松竹大船に、皮肉なことか流行してゐる、曰く戀愛結婚とかで戀愛映畫排擊の城戸所長も、こいつだ

いでに、吉村公三郎、栢原勝、笠井輝二と松竹系の新進監督が、最近結婚したのを、御披露に及んでおく、いづれを見ても戀愛から延長のアツ〳〵の仲とか

◈……三浦光子と忍節子も結婚するといふ說があるがテキは誰やらドナタやら、槇芙佐子は三井秀男と結婚することになるらしい、槇芙佐子は、女優だてらに馬に乘れる、テニスはお上手である、スポーツ趣味が、彼女を三井秀男に結びつけたのだ、と睨んでいゝ、三井は松竹大船野球部になくてはならない選手である、

◈……彼と共に與太者トリオとして鳴らした磯野秋雄も阿部正三郎も今ではレツキとした家庭の主（アルジと讀んで下され）である、三井秀男にしてもそろ〳〵身を固めるべきだらう、そして與太者トリオ時代からお馴染ノ野村浩將監督に賣り込んで、また新らしくトリオを編成するんだね、トリオの名稱は、言はずと知れた

―妻ノロ・トリオ！

こいつは儲かりまつせ、それに、妻ノロの點ではまだ〳〵若い者にはヒケをとらない池田義信製作部長もゐることだし……ねえ！

ラヂオ　けふの番組

あさ

六、〇〇（新京）建國體操
六、一八（大連）入港船のお知らせ
六、二〇（東京）ニュース
六、三〇（大連）中等滿洲語講座　李勉
六、五九（東京）時報
（新京）天氣豫報
七、〇一（奉天）朝の修養「老子と國民思想」（二）　守中清
七、二〇（新京）（レコード）ピアノ五重奏　五重奏曲　ブ　ン、モード、ドウナマル、チアウン、ポコ　ラルガメンテ　第三樂章スケルツオ、モルト　ヴイヴアーチエートリオ　第四樂章　アレグロ、マノントロツポ
八、〇〇（新京）建國體操
八、二〇（新京）氣象通報
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東、奉）經濟市況
九、五〇（新京）幼兒の時間「童謠」一、夕やけ（久保輝作詞　大和田愛羅作曲）二、溫泉町から（本居長豫作詞　葛原しげる作曲）三、おくれ時計（西條八十作詞　本居長豫作曲）四、雨降りお月（野口雨情作詞、中山晋平作曲）五、居眠り地藏（竹久夢二作詞　本居長豫作曲）六、囊蟲ホイ（松村又一作詞　森義八郎作曲）七ある夜のたより（松原至大作詞　宮崎琴月作曲）河原三千代（伴奏）銀の鈴オーケストラ
一〇、〇五（新京）家庭メモ
一〇、一〇（新京）料理獻立
一〇、二〇（哈爾濱）家庭の時間「食用淡水魚と其の料理法」　志摩倚竿
一〇、四〇（新京）食料品値段

ひる

一一、三五（奉天）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
〇、〇一（奉天）經濟市況
〇、〇五（大阪）輕音樂、一、ラ、クンパルシータ（他六曲）大阪放送輕音樂團
〇、三〇（東、新）ニュース
一、〇五（東京）經濟市況
一、五〇（奉天）經濟市況
二、五五（新京）氣象通報
三、〇〇（東京）婦人の時間「趣味と實用を兼ねる草木染」　木村和一
三、二〇（東京）經濟市況
四、〇〇（東、新）ニュース
四、三〇（奉天）經濟市況

よる

六、〇〇（大阪）子供の時間、かゞやく日本歌繪卷（六）「平安朝文化の華」BKコドモ唱歌隊、大阪教育放送合唱隊
六、二〇（東京）コドモの新聞
六、二五（新京）音樂講座「管絃樂の聽き方」（三）　坂西輝信
六、五〇（新京）國民メモ
六、五五（新京）カレントトピツクス
七、〇〇（東、新）ニュース
（新京）職業紹介、告知事項、今晩の番組
七、三〇（東京）講演「癩豫防事業について」厚生大臣　吉田茂
七、四〇（東京）管絃樂「ピアノ協奏曲」第一番變ロ短調、作品二三（チヤイコフスキー作曲）井上園子、日本放送交響樂團、ヨーゼフローゼンシユトツク
八、二〇（東京）立體落語「頭」柳家金語樓、他
八、四〇（新京）講演「不動產登記整理について」地籍整理局審查處長　西尾極
八、五〇（安東）詩吟　一、富士山（石川丈山、作）二、獄中作（橋本左內、作）三、書懷（西鄕南洲、作）四、述懷（藤田東湖、作）　篠沼煌風
九、〇〇（東京）連續ラヂオ小說、嗳流（第二夜）岸田國士（原作）川口一郎（脚色）夏川靜江、中村伸郎（伴奏）東京放送管絃樂團（演出）青山杉作
九、三九（東京）時報、ニユース、ニユース解說
（新京）ニユース、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニユース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

▼…ピアノ協奏曲…▲
七・四〇…
井上園子

後…第一番・變ロ短調…チヤイコフスキー作曲　日本放送交響樂團

この曲はチヤイコフスキーが一八七四年秋に起稿し、翌年二月に脫稿した、そして總譜をニコライ・ルービンシユタインに獻呈しようとしたがこれについてはエピソードがあるニコライ・ルービンシユタインは作曲家アントン・ルービンシユタインの兄で、當時モスコー音樂院々長として彼を引立てた人であり、又有名なピアノの名手であつたが作曲者自身が演奏してきかせたのに對して滅茶々々にコキ下した、恐らく親友でありピアニストである自分に相談なくピアノを餘り知らないチヤイコフスキーがピアノ協奏曲等と言ふ大曲を作りあげたのが感情的に面白くなかつたのであらう、曲の形式をも內容をも又技術上からも徹底的に叩きつぶしてしまつたのでチヤイコフスキーは非常に憤慨して獻呈者をハンスビユーローにしてしまつた、ビユーローは大ピアニストでもあり之を激賞して米國への樂旅にたづさへて行き好評を博した間もなくルービンシユタインも虛心坦懷この曲をきゝその美を稱讚し自ら各方面に演奏して廻つた、一方チヤイコフスキーも一時のこじれた氣持で一音符と言へども變更しないで出版したものを訂正し、現在では書き直したものが演奏される

第一樂章は雄大な構想と豐麗な色彩とにかけて古今有數の作に屬する、第二樂章は前の樂章と對照して殆んど田園的な單純さと素朴な情趣とを特徵とする、第三樂章はロンド形式でロシア舞曲を思はせ華麗極まりないロシアの氣魄と南國の彩華の表現である

＝頭＝
「立體落語」…後八・二〇…
柳家金語樓

山下君は頭の毛がうすいので始終それを苦にしてゐます、或時、親友の寺尾君とバツタリあつた山下君は誘はれるまゝにある喫茶店に入りました、所が、寺尾君の不用意な一言から話題が最も山下君の恐れてゐた頭髮のことに及んでしまひました

山下君はすつかり興奮し遂に寺尾君と摑みあひの喧嘩にまで發展したのです、血相かへて山下君が歸宅すると、女房は心配して色々慰撫すると言ふ爆笑篇、頭の一席

▲山の御堂　半島

ラヂオ月評　アナウンサーの巻　（二）

三谷善衛

午前中は氣持ちのいゝ、齒切よいアナウンスを聽いた人は午後からは、どうにも手のつけ樣のない變な聲のアナウンスを聞かされ、眞に不愉快になるのである即ち片チンバな放送、スムーズに、氣持ちよい氣分を平均に保たしめることとの出來ない、ムラのある放送を聽かされて全くウンザリする時がある。

この上手、下手の組合せをするといふ點に對しては電々會社當事者は今少し自分自身が正しい聽く立場となつて今少し考へねばならぬことであると思はれるのである。

『いや上手ばかり集めてしまふと、下手ばかりの放送局は一體どうなるのだ、そんなことは出來ない』といふかも知れないが、併しそんなことはもう充分に解決濟の筈であると思ふ。即ち東京大阪、名古屋のアナウンスを聽いて見ると先づ第一流の優秀なものを集めてゐて、Bクラスの地方局にはまづ花の舞臺は、チトふめないものを配置してあるを知るのである。

今盛んにやつてゐる『各縣事情鄕土めぐり』の放送を聽いても地方のアナウンサーはまづ／＼中央局のそれより數段劣るのを耳にする。內地の地方局の下手な人は、中央よりの全國放送のニュースや物語り、或は紹介アナウンスを先づ／＼アナウンサー自身が耳から勉强し、あらゆる工夫をして中央的なアナウンスメントを會得する樣にし組まれてあるらしく思へるのである。故に放送協會のアナ陣の異動を見ても、先づ優秀なるアナ氏をドシ／＼中央へ集めてゐるのに氣づくのである。

曾つて大阪の島浦アナウンサーが一生一代の放送として、東京の早慶戰と、國技館の相撲放送をやり度いと洩してゐたがナカ／＼東京に招かれなかつたのである。處が遂に認められてAKに招かれ目下スポーツ・アナウンサーとしてAK第一人者となり活躍してゐるのである。これ等は努力の結果であり大阪局の第一人者と自他共に許すアナ氏といへども、ナカ／＼東京の舞臺はふめないことを知るのである。

『そんなことは內地のことであつて滿洲ではさう思ふ樣に行かないよ、先づ人事は大切だから』と云ふかも知れないが聽取者はそんな放送局の內幕のことには關係ないのである。要するにスピーカーから流れて來る聲だけを相手に批評するのであるから、放送局としては先づ第一にアナ陣の、ムラのある放送を極力防止することにこそ專心せねばならぬ事でありこれこそ氣持よく放送を聽かしめるといふ聽取者へのサーヴイスの第一條件でなくてはならないものと思へるのである。

少なくとも新京は國都であり、東京と同樣の立場にあるとすれば、そこに集まるアナ陣は全滿を代表する優秀なる人材を集めなくてはならないと思ふのである ニュースにしても、子供の新聞にしても、殆ど新京から全滿に送り出されてゐる。特に滿語放送に於ては第一放送以上の責任がある筈である。

その意味に於て新京のアナ氏は、新京ローカルのアナ氏ではなく全滿を代表してゐるといつてもいゝのであるから現在の如くムラのあるアナ陣で滿足し得られるか？といふことになるのである。

アナ氏を敎育することは頗る困難な仕事であるらしい。その人、獨得のクセや生國の關係から標準語を正確に言へとか聲を直せとかいふことは不可能に近いらしいが、併しそんなことは放送當事者は最初から充分知りつくしてゐる筈であるにも拘らず、そのまゝに放任し內心では困る／＼と言つてゐるのである。全く最初から何もかも知りつゝ、放任してゐるのであるから尙は更惡い。結局無責任であると言はれても二の句がつけないことになるのである

ファンとして先づ第一にこの點から大いに改善してもらひたいものである。

學藝

母の斷想　（三）

泉徹雄

しかし、それから後も、祖父の私に對する橫暴は止まなかつた。

祖母も、父、祖父を消極的にしたやうな態度で、私に對した。

從つて、私は家庭の愛を全然知らずに育つたのみならず、祖父母や叔父達からは「ひねくれ者」として、特殊な差別待遇を受けたのである。叔父達——私は兄と呼んでゐるが——の私に對する態度を說明すれば、祖父と祖母をつきまぜて、皮肉な假面を被せたやうなものであつた。——

其の時——私が中學の入學試驗に合格した時は、母が歸つてゐた。

そして、祖父と一緒になつて、私に父へ手紙を書くやうに言ひつけた。

祖父だけならまだしも、母までが自分の元の夫に、しかも金の無心の手紙を我が子に書かせる心理を、私ははかり兼ねて、子供心にも嫌なものを見せつけられたやうな氣がした。私は、寧ろ中學へ上りたい希望よりも、捨鉢的な服從から見も知らぬ父へ、母の口授通りの文字を綴つたのであるが、父からは何の返事も來なかつた。

その他に、母についての子供の頃の印象は、斷片乍ら克明に私の腦裡に宿つてゐる。

私の記憶の範圍內では、母は一年に一度か、せいぜい二度家に歸つて來た。其の時には、いつも何か手土產を私に買つて來た。

私は叔父達が呼ぶやうに「あね」「あね」と呼んで、始終母の尻にくつついてゐた。それは、四面敵だらけの家庭內にあつて、唯一の味方を得た喜びもさる事乍ら、本能的に母を慕ふ心であつたらう。

母が何處でどういふ生活をしてゐるかは、私には皆目解らなかつた。しかし、近くに住んでゐる事だけはどうにか想像出來た。といふより、そんな氣がしたのである。

さうした母についての斷片的な記憶の中で、恐らくは永久に忘れる事が出來ないであらう、浮彫のやうにくつきりとした二つの印象——一つは母に對して不愉快に思つた事であり、他の一つは母を最も悲しんだ事である——を母の事を聞く度に思ひ出すのである。

それはある秋の事であつた。

私の家の二軒隣りに住んでゐる祖伯母——といつても事實は祖母の兄の妻であるが——一里離れた親戚の法事に出掛けて泊つてくるといふので、私の家の留守を賴みに來たのである。

祖伯母は、早く夫に死別れて子がなく、私の二番目の叔父を養子にしてゐたが、小學校の敎師をしてゐる其の叔父は、十里ばかり離れた村の小學校に赴任してゐて、結局廣い家に祖伯母一人きりの生活だつた。

そこで、私と弟が留守をする事になつた。

その日、偶然母が歸つてゐたのである。そして母も一緒に留守に行くと言ひ出した。

あたりが暗くなると、私と母とはすぐ祖伯母の家へ出掛けた。私は母と二人きりの生活が、此の上もなく幸福だつた。

暫くして、弟がやつて來た。私は、自分の幸福を破壞に來たかの如く弟に嫉妬を感じて、無性に腹がたつた。

そして、「歸れ」と言つた。

が、弟は「僕も留守を頼まれたのだから、歸る必要はない」と反抗した。

私は母が居るだけに、いつもよりずつと強かつた。

「歸れ」

「歸らない」

二、三度そんな押問答をしたが、私はたうとう癇癪を爆發させて、弟を突き飛ばした。

北山

文・畫　今村主稅

大石橋の娘々祭は有名である。それと並び稱されるのが北山である。關帝廟、藥王廟、玉皇閣、坎離宮の四廟、他に遙か長白山を蜿蜒と眺め得る曠觀亭等。濃い楡樹に圍まれた朱色の柱が點々と見えて殊の外森嚴さを釀し出す。山有り河有り綠も深く、北山は古い都である。

日本語に對する編輯者の良心

齋藤一正

自分の書くものについて、良心を持たない人はあるまい。それでも「おかめはちもく」と言つて、他人から見れば、いろいろ、まちがひがあるものである。「堪へ」を「堪え」と書いてあつたり「勉強しよう」を「勉強しやう」と書いてあつたり、とかく送假名は亂れがちである。

原稿だつたら多くの人の眼にはとまるまいが、活字になつて誌上に發表されると、取りかへしがつかない

原稿を活字にするのは編輯者である。編輯者は、もちろん原稿をあくまで尊重しなければならない。だからと言つて、誰が見てもまちがつてゐるものまでも、そのまゝに活字にすることは避けたいものである。誤字、極端な當字、送假名等、校正はもちろん、活字に移す以前に、原稿の上で訂正しておきたいものである

日本語について各方面から檢討されてゐる今日、編輯者も、日本語に對する良心をもつて、仕事をされたいものである。

飯森蟲氏へ

櫻井辰雄

私はいつも本紙上へ發表される若い人の詩に對して心ある人の批評を聞きたいと思つてゐた。そして、その心情を度々この紙上へ吐露してゐた。ところが、圖らずも貴方の御批評を拜見

おろしはじめた貴方に對し滿足を覺えると同時に敬意を表したい。私が貴方に敬意を表したいといふのは次の如き批判精神に感じたからである。

一、若い人の詩に對する情熱を、よく理解してくれてゐる。

一、作者の象徴せんとしてゐる意圖——つまり詩作心理を追及してゐる

一、良いところと惡いところとを指摘して解剖的考察を行つてゐる。

だが、私に聊か物足らぬ點は、貴方が作者の詩觀に觸れてゐなかつたことである。言葉を換へて言へば、作者は誰れでもが詩に對する獨自の見解と位置とを持つてゐる。私は貴方に、この作者一人一人の持てる詩觀を尚一歩鋭く突つこんでもらひたかつた。しかしなんといつても、むづかしい批評文をこれだけ深みあるものにしてくれたことは、私にとつて限りなく嬉しい

「本紙上の詩」に於いて、貴方は任に非ずと思ふのだがと言つて居られるが、遠慮なくどし／＼と批評して戴きたい。孜々として道に勵む若い人達にとつてどれほど力づけになるか知れないし、また、これらの人々を完成させるためにどれだけ意義のある仕事だか知れないと思ふ。次に私の詩に對する態度や所感といつたものを聊か述べさせて戴かう。

貴方は私の詩を批評してその一番はじめに馴れた調子であると言つてゐるが實のところあつさり白狀するが、私は詩に馴れてもゐないし第一まだ詩といふものを徹底して理解することができずにゐる狀態だ。しかし、詩に對する自分一個の詩觀は持つてゐる。それが如何なる技巧によつて表現すべきものかといふ點に至つては、遺憾ながら幾多の矛盾に攪まされて未だ解決できず混沌としてゐる。

元來、私は餘り詩を書かない。一ケ月に一つぐらゐしか書けないやうだ。それはといふのに、詩のインスピレーションともいふべきものが自然に起こつて來ない限り、どうしても筆を執れないからだ。これを說明すれば、私は詩を作らうとするのではなく、詩を書かずにはゐられなくなつたときひとりできるのだと思ふ、私はこの一種の症狀を自分で發作と名付けてゐる。發作は周期的に私を襲つてくる。そして、それが餘り激しい場合には筆を執ることができずに腦髓は滅茶苦茶に疲れてしまふ。が、幾日か經つとまた私は辛ふじて筆を執る氣分になつてくる

私の創作や詩はさうした場合に生まれる。したがつて、私の書くものは不可解な氣が漲つてゐる。だが、これは現在の自分としてどうすることもできない。私は早くこの境地から拔け出したく思つてゐる。しかし、そのことは、かうした世界に浸りこんでゐる以上、もつとこの世界のもつ神秘性とか崇嚴な色彩とかを見究めてからのことにしたい。ニヒルと現實との關係をもつと抉り拔いて、そこから生まれ出づる新しい人間性を把握してからのことにしたい。この私の欲望はヒュール・レアリズムに一派通じてゐるのである。

詩について書きたいことはいろいろとあるが、今のところその概念は整理されてゐないから、追々整理して發表することゝし、こゝでは貴方への手紙——とした形式で、この稿を終りたく思ふ。

風

渡邊洪一郎

洗面室の水受くる手に透く指紋はるけくぞ來て今朝瞠めをり（渡滿）

故國の妻に無心の手紙投函せし手に切なさが殘れりいち日

屋階の窓に見て立てば蒙古風吾する下に往來ぞあり

紙屑を吹き散らす舗道の風に立ち夕雲を見上ぐ故國遠き雲

烈風の名殘りは香れて白樺の芽ぶかぬ梢に暗く音たつ

蒙古風吹かぬ日ありて街空に晉らつくしく飛ぶをぞ戀ふ

—あさひこ同人、興銀人事課勤務—

緑地帶

近松秋江の「世間に涙あり」

『改造』六月號所載の小說である。

こゝでは近松秋江先生、當今の俗世間の中に乘り込んで行つてゐる。田舍から東京へ出て來た無學な男、多年の苦勞の後に女房を貰ひ小さな駄菓子屋を始める。しかし繁昌したのも束の間。やがて妻が大病になり、本人に甲斐性もなく、つひに二人の娘を娼妓に賣らねばならなくなる。そのはてはやけになり、一家心中しようと隣りの家に放火する。が自ら怕くなり「火事だ、火事だ！」と叫び出してしまふ。捕へられる。娘は父を悲しみながら何とか後をやつて行かうと決意してゐる。

一寸古老が語る人情噺だといつた感じである最後の一行に一寸ピリリとしたもののあるのが微笑まされる。

とに角あまり愚痴つぽいものばかり書いてゐたこの人が、これも同じく悲慘な生活ではあるがしかしその中にもほの／＼としたものを漂はせたやうな一作を書いてゐるのが興味深かつた形式は古いが一應面白く讀めた。

（御垣衛士）

皇帝陛下 御航路恙なく あす横濱御上陸 奉迎準備全く整ふ

【東京發國通】聖戰下日本の一億民草が熱誠こめて滿洲國皇帝陛下を奉迎申上げる感激の日＝日滿親和東洋平和史上に新たなる世紀の一頁を劃する曠古の盛儀の日はいよいよあす二十六日に迫つた＝皇紀二千六百年に當り滿洲國の元首として慶祝の御使命を帶びさせられ、御訪日の途にあらせられる滿洲國皇帝陛下の召御艦日向はいよいよ薫風緑爽の廿六日殷々たる皇禮砲轟くなかを横濱に入港、皇帝陛下には畏き邊りの御沙汰により御召艦上にまで御出迎への秩父宮殿下と艦上にて親しく御會見の後、海陸に湧く奉迎の萬歳の嵐と劉喨たる滿洲國國歌奏樂裡に滿五年ぶりに御懷しの日本國土に御上陸第一歩を印し給ひ横濱港驛より御召列車に御乘車午前十一時卅分東京驛御着車、同驛にて畏くも最高儀禮を以て御出迎へ遊ばされる天皇陛下と歴史的御對面を遊ばされ直ちに御旅館赤坂離宮に入らせられる

次いで皇帝陛下には天皇皇后兩陛下に御對面のため、午後二時宮城に御參入、天皇、皇后兩陛下と御會見遊ばされ新世紀慶祝の御祝詞を述べさせられて御歸館、午後三時四十分には赤坂離宮に於いて天皇陛下の御答訪を受けさせられ、こゝに輝く歴史的御交驩を遊ばされ夜は午後六時廿分、天皇皇后兩陛下の御厚き御招きにより再び宮城に御參入、豐明殿に於いて天皇皇后兩陛下と御會食の後午後八時四十分赤坂離宮に御歸館、こゝに御入京第一日の御日程を終へさせられる御由に承はる

畏くも天皇、皇后兩陛下には去る廿二日皇帝陛下の大連御出港後畏き御船路の上に大御心を寄せ給ひ親しく御來訪の日を御待ちの御由に拜承するが、いまや御來訪の日を明日に控へて一切の奉迎準備も全く成り、日本一億國民は胸一杯の感激と歡喜に滿ちあふれてゐる

伊勢御參拜の時 我等も東方遙拜 七月三日全滿共に

友邦の誓ひも固く紀元二千六百年御慶祝のため御訪日の皇帝陛下には廿六日宮城御參入、天皇陛下に御對面あそばされて御慶祝の御言葉を述べられると洩れ承るが更に七月三日には伊勢內宮、外宮に御參拜、悠久二千六百年を偲ばせ給ひ森嚴の神域には日滿一德一心の誓ひもかたく御祈念あらせられるので全滿四千萬民草ひとしくこの兩度の御儀に際しては皇帝陛下の御心を體して嚴肅なる遙拜を遙か東の方に捧げることゝなり廿四日松木總務廳次長から關係各方面に通達されたなほ遙拜時刻は追つてラヂオ新聞等を通じて發表されるが、その時刻には各官廳、會社、協和會、學校等では全員集合のうへ嚴肅な遙拜式を擧行、また家庭にあるものも路上通行中のものも擧つてこの時刻には東方遙拜に心からなる日滿一德一心の眞心をさゝげ奉ることになつてゐる

玉川學園生來京

デンマーク體操の向ふをはり音樂と體操を統合した「玉川體操」の名で音樂體操を唱導する東京玉川學園では夏期休暇を利用し皇軍慰問を主とする滿洲公演旅行を決行來る廿八日午前七時四十五分新京着列車で來京するが、同日午後一時から協和會館で滿系教師團對象の公演會ののち午後七時から「滿鐵社員慰安の夕」を社員クラブで催すとともに午後七時四十分から廿分間新京放送局から放送し、北滿巡回のうへ再び七月八日午後十時廿二分新京に引返し九日は午前中陸軍病院に白衣の勇士を慰問、午後は敷島高女で新京教育會主催のもとに一般公演を行ひ更に十日も午前中は治安部病院に國軍白衣の勇士を慰問、午後は錦ケ丘高女で再度一般公演を行ふ

綿の闇發見

二十四日午後一時長通路署周文岐警士が東三馬路老市場口一六五ノ四露店商姚有恩（三六）方に戸口調査の際擧動に曖昧なところがあるので追究すると本年四月から純綿百五十反の買溜めを行ひ城內滿系民衆に闇相場で賣卸してゐたことが判明した

事變記念日に可憐な華 我も銃後の一員 滿系學童の力強き赤誠行進 小國民愛國隊結成

7月7日

新東亞建設に邁進する皇軍將兵への感謝は滿系小國民の間にも力強く植付けられ、聖戰勇士や護國の英靈にさゝげる赤誠を具象化するため國都の公私立國民學校學童一萬五千名を打つて一丸とする「小國民愛國隊」が來る七月七日の支那事變三周年記念日行事として編成され、小さいながらも銃後をしつかり護らうとの頼母しい新運動が大經路國民學校長大隈勘次郎氏を中心に父兄の力強い贊同を得て結實せんとしてゐる

從來滿系優級學校及び國民學校では昨年七月以來毎月各學校に勇士慰問班を設け治安部病院の國軍傷兵慰問戰線將士の圖畫綴方慰問をつゞけてゐるが、第二の國民も戰線勇士におとらぬやうしつかりと團結し、來るべき時代は我等の力で強く正しく護りたいとの熱意から生れんとする快運動として注目に値するものがある

△大隈大經路校長談＝七月七日は日滿兩國にとつて忘れることの出來ない記念日ですから、銃後の國民の團結が更に重要なことを認識させたい希望から愛國隊の結成を思つたものですが、各方面の贊同を得てよろこんでゐます、來る七日の記念日には滿系各國民學校生徒一萬五千人の握手により戰線勇士の苦勞を偲ぶと共に銃後の護りを固める力強い誓ひをたてさせたいと考へてゐます

營業稅納稅は あと六日間です 義務者は自覺せよ 成績甚だ惡し

營業稅の第一期分納稅期日は六月末限りとなつてゐるが、廿四日現在の納稅者は日系二七六（總數二、八〇〇）滿系七〇〇（同五五〇〇）で漸く一割に達するといふ寒心すべき現狀にあるので新京稅捐局では納稅報國の實績擧揚のため廿五日から係員を總動員し納稅督勵に全力を注ぎ、既往の不成績は躍進國都の顏にもかゝはると義務者の自覺を喚起するとゝもに同局受付と人員を增し事務處理の敏捷化を圖るほか本年初の試みとして廿四日から廿九日までの六日間三笠町三ノ一〇大新京三業組合內に「臨時徵收所」を開設納稅者の便宜を圖ることゝなつた

高松宮殿下 滿洲國御視察より御歸還

【新潟發國通】高松宮殿下には本月一日以來新京を中心に滿洲國の現狀を御視察遊ばされ廿四日午前七時新潟入港のさいべりあ丸で安井新潟縣知事以下官民御歡迎裡に御歸還あらせられた

興銀のスリ

二十四日午後零時三十分頃中央通一八松村組會計係員深田耕司（二五）さんは南廣場興銀支店出納係窓口で協和服上衣右ポケットから現金千圓（十圓札百枚）を掏られて中央通署へ屆け出た

東新京に赤痢

東新京南區三二農業符從和（四〇）は去る廿日來病臥中であつたが廿四日午後三時滿鐵東新京分院江藤滿氏檢診の結果赤痢と判明、同分院に隔離した

小麥粉配給懇談

米の通帳制に次いで來る七月一日より實施される小麥粉通帳制の圓滑なる配給を圖るため協和會首都本部では二十八日午前十時より會議室に於て分會長會議を開催、配給要領並にこれが趣旨徹底の宣傳方法その他を種々協議し實施當日に遺憾なきを期することゝなつた

理解不充分から 心配の要はない 米配給のゴタゴタ 市公署は答ふ

米の通帳制を續つて惹起された配給方法の混亂は直接市民の生活と密接な繫りを持つだけに多大な反響があり、配給日時によつて實施した米穀量の差引問題を繞つて町會側では小賣業者の越權行爲であるとなし、又小賣商店では配給量を加減して貰つてゐるのは市公署の指令で越權行爲でもなんでもない、この問題も今月限りだと云ひ、それ〳〵の立場からそれ〳〵の意見の開陳があつたが、米の通帳制度の生みの親市公署牧山商工科長はこの問題に對し次の如く解答した

この問題は絶對に制度の缺陷ではなく要するに制度の運營上の混亂から來たもので、町會側も小賣商側も又一般市民も制度實施直後のためこの制度に對する理解が不充分であつた關係からゴタ〳〵が起きたものと見るべきである、通帳制度は切符制度とは違つて、充分にある米をお互が必要量だけ支給を受けて餘分を持たず、この非常時下に處して行くために設けられたもので、切符制度のやうに切符と米の引換が切符に記載された量だけをいつでも支給されるのとは違ふ譯である、町會側で配給出來る量だけはいつでも配給出來る筈である、日時によつて小賣商が加減するとすれば小賣商の越權行爲であると云ふのは切符制度と通帳制度を混同した言葉で、又小賣商の方で日時を切つて配給するのはいゝとして配給を支給日よりその月の終りまでとしたのは間違ひである、正當な解釋は例へば六月二十日に支給を受けるとする、配給査定量は假に百キロとすれば、その半數の五十キロを向ふ十五日分（即ち七月五日まで）買へる譯で、七月五日が來て米が失くなれば引續き殘りの五十キロを向ふ十五日間（二十日まで）支給されるのである、そしての巡環は今後通帳制が續く限り行はれ、小賣商の言ふやうに今月限りではない又例へば月の始めに米の支給を受けて十五日に旅行をした、そして二十日に歸つて來た場合に旅行期間中の米は買へるかと云へばそれは駄目である通帳制は今後の生活の保證のために通帳發行を實施したもので、過去は問題にしてゐないのだからとにかくこの際市民はこの通帳制度を充分に理解して、たゞにこれを米の配給問題としてのみ考へず國家總動員態勢の一つとして各自規律ある行動を取られたい

首聯に叫ばれるもの 商工移民を保護せよ 內地引揚の原因は？

來る七月十日より四日間國防會館に開催する本年度首都聯合協議會は既に晴の代表を內定し、提出議案は目下議案整理委員會によつて審議、上程議案も日ならず決定を見ることゝなつた、果して如何なる問題が審議されるであらうか、これが議案は現實に於ける市民生活の動向をはかるバロメーターであり、殊に日系市民の動向が何處にあるかは最も注目されてゐるのである、日系側各分會から提出された議案について見るといづれも市民の當面に積はる重要問題として日常體驗しつゝある物資、物價並びに統制配給問題等の經濟問題及び住宅、交通問題が中心に採り上げられてゐる、隨つてこれが懇談協議には白熱的論戰を豫想されその成果には一段の期待がかけられてゐるが、これ等提出議案の中から異色ある問題二、三を拾ひ上げて見よう

商工移民保護に關する件（敷島連絡幹事會＝祝、富士、三笠、吉野、入船、中央、日本橋、朝日、中央、西廣場、白菊各分會提案）

本案は我て日系市民側に於て憂慮されその對策を要望されてゐた日系商工業者の內地引揚げに關する問題である、即ち滿洲國は農業移民に對し積極的奬勵しつゝあるが商工移民に對し何等顧慮するところがない、むしろ壓迫を加へる實情にある、延いては在滿數十年滿洲草分け商工移民の先驅者として功勞あるこれ等業者はこの地に骨を埋める決意も捨て一切の事業と地盤も捨てゝ內地へ引揚げて行く、その基因は經濟機構の急激なる變革、稅金の急激なる增徵、警察機構の急激なる改變、人事の急激なる異動等ことに經濟警察の取締方針は殆んどその業に安んずることが出來ない、當局は統制經濟並に物動計畫に關し須らく楯の兩面を注視し商工移民保護の方策を採るやう而してこれが辨法を次の如く要望するといふのであり、この辨法として左記が擧げられてゐる

一、既存商工業者をして其の業に安んぜしめる樣方法を講ぜられたきこと
二、經濟警察の取締は犯人檢擧よりも業者指導に重點を置かれたきこと
三、經濟警察對業者の懇談會を開かれたきこと
四、暴利取締に關しては物品の品目及び利潤の程度を豫め明示して違反者を豫防せられたきこと

公務員の優遇へ 惠まれざる現狀打破

公務員優遇に關する件（敷島連絡幹事會提案）

公務員のあまりに惠まれないことは街の話題となつてゐるが、彼等公務員の活動は過去、現在に於て國運の進展及び國策遂行に偉大なる貢獻をなしつゝあるものであつて一般官公吏に次いで何等かの方法により國家的表彰又は褒賞の規定を定め功績を犒つてもらひたいといふ、所謂縁の下の力持ちを浮びあがらせやうといふ溫い思ひやり、その辨法は次の如くである

町會、協和會、義勇奉公隊等の役員其の公務に携れる指導者に對し國家として其の資格を認むると共に勤續年數及其の功績に依りて表彰並に褒賞をなすこと（一）建國以來の功績者に對しては建國功勞賞を授與される等（二）國家的式典に參列をなさしむること（三）國家的大行事に參列をなさしむること（四）殉職の場合は何等かの方法に依り褒賞すること（四）退職の場合は褒賞をなすと共に其の業績に依り退職後の恩典を與ふること

金融方針を緩和せよ 商工業者の惱

中小商工業者に對する資金統制緩和に關する件（順天通絡幹事會＝興安大路分會提案）

資金統制の本格的實施に伴つて中小商工業者に對す融資は全面的に抑制せられて來た、而してこれ等業者の現況は物資統制の結果次第にその營業品目に不足を來たし利益率は低下、經費は增嵩して窮境に陷しつゝある、從つて仕入資金に對する融資の必要度は現下特に痛感されてゐる、然し金融の現狀は不動産を抵當とする貸付に對してすら拒否の態度にある、ことに資力薄弱な中小工業者にあつては融資の恩惠に浴することが出來ず、高利による借入によつて僅かに生業の維持を圖ると言ふ狀態である、中小工商業をしてその生業に淬勵せしめるやう融資方針の緩和を熱望する、その辨法は

中小商工業者よりの融資申込に對しては出來得るかぎり懇切に取扱ひ、一殺多生の大乘的見地に立ち手續の簡易化並びに滿洲事變以來漸くにしてかち得た生業の基礎を保護し、更に現下急迫せる金融の梗塞に對し貸出制限の緩和を圖れといふにある

卸商、小賣商の聯盟設立を協議 物資總動員に即應

物價の安定並びに配給の圓滑を圖るためさきに物價統制法が公布實施されて時局下物資總動員體制成りその成果は期待されてゐるが、市公署商工科ではこの體制に順應して積極的に市民生活の安定を圖るとゝもに卸小賣業者發展策のため卸賣業聯盟、小賣業聯盟（假稱）設立の意向を有し目下關係當局も寄々協議を進めつゝある模樣で、兩聯盟誕生の曉は兩者密接なる連繫下に圓滑豐富な諸物資配給、價格の統一等は在來よりも一段と鞏固なものとみられ期待されてゐる

商工公會職員會

新京商工公會定例職員會は二十四日午後零時三十分から同公會々議室に於て開催

一、第二回全滿商工公會總會開催認可申請に關する件
二、滿洲特産協會總會開催に關し援助の件
三、馬糧配給實現促進方依頼の件

の三議案を可決

覺めよ宗教家 自興運動から要望

協和會首都本部の自興運動懇談會第五回は二十四日午後二時半から國防會館で行はれたが、前回叫ばれた「先づおやぢが手本を示せ！」の問題は又も取りあげられ「おやぢの再教育をやれ」と云ふ事にまで進展し指導機關の一つたる協和會あたりも單に民衆の聲を聞いてゐるばかりでなく、實行に移して貰ひたいと主催者にまで火の手が及ぼした

それの一つとしては現在獨身青年層の惱みである飯の問題で「衣食足つて禮節足る」の意味からも協和會の手で大衆的安價な「協和食堂」を建てるべきであると要望された

更に指導層の一つとして宗教家の警醒を促された國都の宗教家は現在眠つてゐる地獄極樂の教育であつた昔と違つて現代の青年層に向つては倫理的に哲學的に宗教による精神教育を行ふ樣に積極的に働きかくべきだ我田引水的に流れる事なく大乘的見地から街頭演說を行ひ人心を善導するといつた方法に出て、これが行爲は吾々宗教宗の本分であり義務であると云つた風に目覺めてほしい、また宗教團體を組織して修養道場を開設して名僧、名士の講演を聞くとか座談會等を行つて精神教育に當ることが現下の急務であると叫ばれた

電々代表に決定 野球北滿豫選

都市對抗野球北滿豫選新京電々對吉林鐵道局二回戰は廿四日午後五時から吉鐵球場に於て擧行されたが、二A對零で電々の勝利に歸し北滿代表と決定した、閉戰六時十五分

吉 000000000―0
電 20000000A―2

七分鳩

大陸科學院の片岡農博の息子さんが洗濯屋の子と間違へられた話の序に、片岡博士發見の"子供の出來る酒"の話を御紹介しよう、但し必ずと博士が保證した譯ではないからそのつもりで

×

片岡さん、暫く子供が出來なかつたところが何年ぶりかでお芽出度があつた、生めよ殖やせよの國策に順應することになつたので大よろこび、だが不思議だ、もう出來ないと諦めてゐたのにと頻りに首をひねつたあげく、どうもあれらしいとの結論に到達した

×

釀造科學を受持つて林檎、山楂子などの酒を釀すことに沒頭、殊に山楂子酒は嘗めてみたり、飲んでみたりを暫くつゞけたが、屹度あれが効いたに違ひない……と、また蛤で手を燒いた話なんてのもあるが、またの機會に讓る

けふの天氣 北東後南東の風 曇雨
きのふの氣溫 最高 二四・六 最低 一七・七

世紀の英雄（55）

番伸二
夏目惇畫

新しき土（十）

それはまつたく鮮かな手ぎはであつた。

枝になつてゐる柿は、手でもぎ採るやうに落ちるが、然し落ちた先きが問題だ。大概は塀の彼方に落ちてしまひ、こちら迄轉がつて來るのは稀である。そこで少年達は考へた。

『石に糸をつけて、それを枝へ搦ませたら上手く行くぞ』

『うん、それはいゝ考へだ』

糸のついた石が源太郎の手から投ぜられるひゆつと飛んで行つた石は見事枝に搦みつくと今度は少年達の手に柿は容易にはいる事が出來た。

『流石は、新聞にデカ／＼と書き立てられるだけの腕前だな』

そんなほめ方を源太郎にする少年もある。

そこにさうした源太郎の手腕をじつと凝視してゐる奥江といふ少年があつた。が、その夜、源太郎の枕許にしのび寄つて、

『源ちやん／＼、聞いて貰ひたい話があるから起きておくれよ』

その話といふのはこの少年教護院から脱出する事で方法は、あの柿の木に紐を結びつけそれを猿のやうにたぐりよせて身體を塀の外へ持ち出さうといふのである。

『乃公は丈夫なひもを用意してあるんだ。お前が投げてしつかりした枝にからましてくれゝば乾度逃げ出す事が出來る』

この計略はその夜のうちに實行された。

少年教護院から脱出した塚田源太郎と奥江良夫の二人は、東京へ逃げても直ぐつかまる事を知つてゐるので奥江の田舍へ逃走しようといふ。

奥江良夫の出生地は、秋田縣の湯澤に近い村で、そこでは濁酒を密造して毎年河合といふ百姓が刑務所送りになるので有名な所だ。

そも／＼奥江良夫が少年教護院へ送られて來たのも、その濁酒密造に關聯がある。

この地方では、爛漫、兩國などの清酒の産地だが、貧乏な百姓が一升について四十錢も税金をとられる清酒をのめるものでは無い。と、言つて百姓の唯一の樂しみと言つてよい酒は生活の上でかくべからざるものだ。

そこで百姓達は、青米や屑米から濁酒を密造する。だが、その密造は百姓達が、酒役人と呼ぶ税務署の課税員達によつて、田植や稲刈の留守に部落を襲はれて檢擧される。

罰金は、最低三十圓から二百位だが、五十錢玉一枚でも喉から手が出る程欲しい貧しい生活にとつて、それ等の罰金をおさめられる筈が無いのだ。

そこで納められるだけは納めて、後は罰金代りに勞役場入りといふ事になるのである。

ところが一家の働き手が勞役場に運ばれて行つてしまつては、そのまゝひ上つてしまふので、家では最早働く事の出來ぬやうな人間が犠牲者となつて運ばれて行く。

よぼ／＼のお爺さんが『おれもこの年になつて一日一圓の働きが出來るとは思はなかつた』

こんな哀れな皮肉をいつて息子代りに曳かれて行く。勞役は一日一圓の割りである。

もつとひどい話になると、お腹の大きな神さんがつれて行かれ、勞役場へつくや否や陣痛になりそれ醫者よ藥よ、といふ有樣で、勞役場では、

『たつた四十圓の罰金に、あの女には病院の拂ひだけでも小百圓かゝつた』

と、こぼした挿話などもある。

列車發着表

◎大連方面に
△大連行 前二時三十分
△奉天行 六時廿五分
△釜山行 八時
△奉天行 八時卅五分
△大連行 九時三十分
△營口行 十時三十分
△四平街行 十一時三十分
△奉天行 後一時五分
△大連行 一時四十分
△大連行 二時三十分
△大連行 三時廿五分
△釜山行 四時五十分
△四平街行 六時五十分
△四平街行 七時四十分
△大連行 九時四十分
△大連行 十一時十三分
△奉天行 十一時三十分

◎哈爾濱方面行
△哈爾濱行 前三時四十二分
△德惠行 五時十五分
△哈爾濱行 六時三十分
△哈爾濱行 八時十分
△哈爾濱行 九時
△哈爾濱行 後十二時五十二分
△哈爾濱行 三時十五分
△哈爾濱行 五時三十五分
△德惠行 七時十分
△哈爾濱行 十時卅五分
△牡丹江行 十一時四十五分

◎圖們方面行
△吉林行 前七時五分
△羅津行 八時卅五分
△圖們行 九時四十五分
△吉林行 後一時
△牡丹江行 三時二十分
△吉林行 七時廿五分
△濱江行 十時五分

◎白城子方面行
△白城子行 前八時廿五分
△白城子行 十時五十五分
△前郭旗行 後五時三十分

◎大連方面より
△大連發 前三時卅二分
△大連發 六時十八分
△奉天發 七時四十五分
△大連發 八時
△四平街發 八時四十六分
△大連發 九時四十分
△四平街發 十時卅二分
△釜山發 十一時四十三分
△奉天發 後十二時三十分
△大連發 三時
△大連發 四時二十分
△大連發 五時二十分
△營口發 六時十八分
△大連發 八時二十分
△釜山發 九時廿五分
△奉天發 十一時三十分

◎哈爾濱方面より
△德惠發 前零時三十分
△哈爾濱發 二時二十分
△哈爾濱發 六時三十四分
△牡丹江發 七時五十四分
△哈爾濱發 十一時三十分
△德惠發 後十二時五十分
△哈爾濱發 一時三十分
△哈爾濱發 三時十分
△哈爾濱發 六時四十分
△哈爾濱發 九時三十分
△哈爾濱發 十一時三分

◎圖們方面より
△濱江發 前七時十二分
△吉林發 十一時廿四分
△牡丹江發 後二時十分
△吉林發 五時廿一分
△圖們發 八時四十分
△羅津發 九時三十分
△吉林發 十一時十五分

◎白城子方面より
△前郭旗發 十二時一分
△白城子發 後六時卅二分
△白城子發 九時五分

大阪商船出帆

吉林丸 六月廿七日
ちぶらた丸 六月廿九日
扶桑丸 六月三十日
うすりい丸 七月一日
さんとす丸 七月二日
熱河丸 七月三日
うらる丸 七月五日
黒龍丸 七月六日
熱河丸 七月七日

門司、神戸行（午前十一時大連出帆）
三角、鹿兒島那覇行 五月廿四日
午後三時大連出帆
事務所＝大連、奉天、哈爾濱、新京ビユーローにて切符發賣